# 公園トイレ更新工事（箕面東公園）

## 図面リスト

| 図面番号 | 図面名称 | 縮尺（A3） | 縮尺（A1） |
|---|---|---|---|
| 001 | 表紙・図面リスト | ――― | ――― |
| 002 | 特記仕様書－１ | ――― | ――― |
| 003 | 特記仕様書－２ | ――― | ――― |
| 004 | 特記仕様書－３ | ――― | ――― |
| 005 | 特記仕様書－４ | ――― | ――― |
| 006 | 特記仕様書－５ | ――― | ――― |
| 007 | 付近見取図・概要書・求積図 | 1/800・1/400 | 1/400・1/200 |
| 008 | 配置図・外構図 | 1/200 | 1/100 |
| 009 | 平面図・屋根伏図・立面図・触地図・ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ・仕上表 | 1/60 | 1/60 |
| 010 | 断面図・基礎伏図・求積図 | 1/60 | 1/60 |
| 011 | 衛生設備図・給水系統図・排水系統図・電気系統図 | 1/60 | 1/60 |
| 012 | 基礎配筋図・躯体断面図 | 1/60 | 1/60 |
| 013 | 撤去図 | 1/100・1/150 | 1/50・1/75 |
| 014 | 仮設計画図 | 1/500・1/400 | 1/250・1/200 |
| 015 | 排水設備計画図 | 1/200 | 1/100 |

| 室　長 | 室長補佐 | ｸﾞﾙｰﾌﾟ長 | 担　当 | 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>001 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 図面名称 | 表紙・図面リスト | 整理番号 | |
| | | | | | 縮尺 | － | | |

# 工事設計図

特記仕様書

一、工事概要

1. 工事場所　公園トイレ更新工事（箕面東公園）
　箕面市箕生新家2丁目15　箕面東公園内

2. 敷地面積　385.78㎡

3. 工事種目

| | |
|---|---|
| 建築 | ・建築工事　一式 |
| 電気 | ・電気設備工事　一式 |
| 機械 | ・機械設備工事　一式 |

二、建築工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」
（上記は以下「標準仕様書」と言う）
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」
（上記は以下、「改修標準仕様書」と言う）
（2）図面及び第22章　一般エレベーター設備の項目に記載されていない事項は、
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」による。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊖印の付いたものを適用する。
　⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、躯仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
（6）㊐印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| ① 一般共通事項 | ①適用基準等 | ・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成31年版）<br>・設備工事標準詳細図（電気設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成31年版）<br>・設備工事標準詳細図（機械設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　最新版年版）<br>・工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） |
| | ②優先順位 | 本工事は以下の設計図書に基づき施工する。その適用にあたっての優先順位は下記の番号順とする。<br>（1）質疑回答書　（2）現場説明事項　（3）特記仕様書　（4）設計図面<br>（5）標準仕様書　（6）標準図 |
| | ③官公庁その他への手続き | 工事に関する必要な官公庁その他への手続きは、工事施工者がそのすべて費用を負担して速やかに行う。 |
| | ④既存部分との取合い | 既設部分と本工事部分の取合い等において、本工事範囲外の部分に汚染，損傷を生じた場合、工事施工者がその費用を負担して原型と同仕様にて補修を行う。 |
| | 5 別契約の関連工事 | 別契約の関連工事については、監督職員の指示により、当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。 |
| | ⑥材料等 | ※特記された材料、製品、製作所、施工業者等の取扱いにおいて、同等以上のものを採用する場合は監督職員の承諾を受ける。<br>※環境配慮製品の採用に努める。<br>※製造物損害賠償責任保険加入製品の採用 |
| | ⑦発生材の処理 | 発生材のうち特記及び監督職員の指示により、引渡しを要するものは指示された場所に整理し、その他発生材についてはすべて場外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理する。 |
| | ⑧分別解体等 | 工事に伴い副次的に生ずる建築資材廃棄物は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律を遵守し、その種類ごとに分別しつつ施工すること。 |
| | ⑨建設副産物の処理 | 建設副産物の処理の方法は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等を遵守して行うこと。処理方法については、現場説明書等による。又、監督職員が指示する場合は処理地への搬入日時、処理時の写真等を報告書にまとめて提出すること。 |
| | ⑩再生資源化を図る建設副産物 | 再生資源化を図る建設副産物は、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、（　　）とする。<br>再資源化を図る建設副産物の処理地は、再資源化を行っている中間処理場とする。ただし、受入側の事情等やむを得ない事情により、処理地を変更する場合は監督職員の承諾を得なければならない。 |
| | ⑪建設機械 | 低騒音型または排ガス対策型の機械を使用すること。 |
| | 12 特別管理産業廃棄物 | ・有（　　）　⊙無 |
| | ⑬災害,公害,危険防止及び近隣補償 | 工事施工に伴う災害及び公害の防止は、関係法令等に従い適切に処理する。工事中に発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては、施工者の責任において解決する。<br>工事上、他に損害を与えた場合の補修、補償は施工者の負担とする。 |
| | ⑭保険 | 工事に先立ち、以下の保険に加入すること。<br>⊙火災保険<br>⊙建設工事保険<br>・組立て保険<br>⊙労働災害総合保険<br>⊙請負業者賠償責任保険<br>⊙建設業退職金共済制度 |
| | ⑮安全対策 | ＊本工事の施工に当たり、隣接建物及び工作物並びに通行人等に損害を与えないように危険表示の設備、必要な保護設備を設け、交通及び保安上の配慮を行い、監督職員及び関係各所の承認を受けて安全な工事の実施を期するものとする。<br>交通誘導員の配置　⊙有（常駐1名、必要に応じて増員のこと）<br>・無<br>~~・交通整理員詰所　※　0.97×1.27(m)　・　1.2×1.8(m)~~ |
| | ⑯総合図 | ＊工事着手と同時に、各階施工平面詳細図及び天井伏図（床・壁・天井に付く諸設備も一括表示したもの）を速やかに作成し監督職員に提出のうえ承諾を得ること。 |
| | ⑰現場処理 | ＊現場の納まり。取り合わせ等の関係で、材料の寸法・取付位置又は取付方法を多少変え、或いは、これらによって取付材の材質、数量を幾分変更するなどの軽微な変更は、監督職員の指示によって行う。この場合契約金額の変更は行わない。 |
| | ⑱提出書類 | 着工時（着工日より5日以内に提出）<br>⊙市の指定する書類（着工届 他）　1部　A３又はA４版<br>⊙施工計画書　1部　A４版<br>施工中<br>⊙工事工程表　1部　A３又はA４版<br>⊙工事日報　1部　A４版<br>⊙各種測定記録　各1部　A４版<br>⊙各種試験報告書　各1部　A４版<br>⊙各施工図　各1部　A１又はA２版<br>⊙施工体制台帳及び施工体系の写し　各1部<br>⑥打合せ報告書　1部　A４版<br>⊖その他監督職員の指示する書類<br>竣工時（竣工日に提出）<br>⊙竣工届　1部　A４版<br>⊙工事写真（カラーサービス版又はデジタルカメラ撮影、A４写真帳整理）　1部<br>着工前，施工中，見え隠れ部分，完成 等<br>⊙竣工写真（カラーキャビネ版をアルバムに整理）　4部<br>撮影箇所　６０箇所<br>撮影は、専門業者に委託すること。又、アルバムの体裁、整理方法については、監督職員の指示による。<br>⊙竣工図（２つ折り製本文字入り）　1部　A１版<br>⊙竣工図（２つ折り製本文字入り）　3部　A３縮小版<br>⊙竣工図（A４折込み黒表紙製本、金文字入り）　部　A４版<br>・竣工図原図　1部　A１版<br>⊙施工図データー（CAD（DXF形式互換）により作成CD-R又は3.5インチFDにて提出）　1式<br>・施工図（２つ折り製本文字入り）　2部　A１版<br>⊙納品書・出荷証明書（ファイル製本）　1部　A４版<br>⊙竣工引き渡し書（指定様式）　1部　A４版<br>⊖工事記録その他監督職員の指示する書類 |
| | ⑲施工条件 | ・無騒動、無騒音工法を採用し、その工法については監督職員の確認を得ること。（1．3．5）<br>・各種工事施工着手前に、施工法、施工可能時間など協議の上施工を行うこと。 |
| | ⑳技能士 | （1.5.2）<br>適用工事種別 ／ 技能検定作業<br>仮設工事 ／ ・とび作業<br>鉄筋工事 ／ ・鉄筋組立作業<br>コンクリート工事 ／ ・型枠施工　・コンクリート圧送工事作業<br>鉄骨工事 ／ ・構造物鉄工事作業　・とび作業<br>コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ／ ・コンクリートブロック工事作業<br>・エーエルシーパネル工事作業<br>防水工事 ／ ・アスファルト防水工事作業　・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業<br>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業<br>・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業<br>・シーリング防水工事作業　・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業<br>・FRP防水工事作業<br>石工事 ／ ・石張り作業<br>タイル工事 ／ ・タイル張り作業<br>木工事 ／ ・大工工事作業<br>屋根及びとい工事 ／ ・内外装板金作業　・スレート工事作業<br>金属工事 ／ ・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業<br>左官工事 ／ ・左官作業<br>建具工事 ／ ・ビル用サッシ工事作業　・ガラス工事作業<br>・自動ドア施工作業<br>カーテンウォール工事 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業　・ビル用サッシ施工作業<br>・ガラス工事作業<br>塗装工事 ／ ・建築塗装作業<br>内装工事 ／ ・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業<br>・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業<br>排水工事 ／ ・建築配管作業<br>舗装工事 ／ ・溶融ペイントハンドマーカー工事作業　・加熱ペイントマジンマーカー工事作業<br>組積工事 ／ ・造園工事作業 |
| | ㉑責任施工 | 特記事項中、責任施工の指示のあるものは、請負人及び下請人の連帯責任とし、保証書を提出する。 |
| | ㉒設計GL | ※図示　・設計GL＝現状GL |
| | ㉓建築基準法に基づき指定する条件 | ・地区の区分に応じた風速（V（m/sec））　３４<br>・多雪地域の指定　積雪区分 |
| | ㉔中間検査 | 中間検査の実施　・有　⊙無<br>実施時期　・躯体工事完了時　※監督職員が指示する時 |
| | ㉕施工の立会い | 監督職員等の立会いの上、施工する工事は、下記による。<br>敷地境界、縄張り、ベンチマーク、遣方、根切り掘削完了時、杭打ち、主要構造部の配筋、型枠の組立て、コンクリートスランプ及び打込み、鉄骨現寸図、同ボルト締付け、同建方、ガス圧接試験片の切取り、屋外タイル接着力試験、その他監督職員等の指示するもの　（1．5．7） |
| | ㉖シックハウスに関する特記仕様書 | 項目 ／ 内容<br>①．目的 ／ 近年、建築物の室内での空気汚染、特に建材から放散されるホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物等による健康への影響が懸念されており、工事の施工に際してはシックハウス防止への対策を講じることが重要である。<br>よって、この仕様書は、営繕工事におけるホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物等の低減に配慮した設計・施工方針を定めることにより、当該施設での健康被害発生の抑制を図ることを目的とする。<br>②．検討する物質 ／ 室内空気汚染については、様々な物質が考えられているが、本仕様書では建材に含まれる可能性が高く、放散により健康被害を招く可能性が高いと考えられる以下の物質を対象とする。<br>（1）揮発性有機化合物（VOC）<br>・ホルムアルデヒド　・エチルベンゼン<br>・トルエン　・スチレン<br>・キシレン　・パラジクロロベンゼン<br>（2）薬剤<br>・木材保護剤　・可塑剤　・防蟻剤<br>③．範囲 ／ 本仕様書は、シックハウスの防止対策のうち、営繕工事における次の事項について策定する。<br>・材料の選定<br>・施工上の対策<br>④．主な材料の選定 ／ 建材の含有成分表示やその放散規格を参考とし、また、関連情報をより多く収集して、次のA、B、Cの区分で所者から優先的に選定する。<br>A区分　取組物質が含有されていないとされる材料。<br>B区分　A区分のものが商品化されていないもの、商品化されているもののうち、取組物質の放散量が最も少ない材料。<br>C区分　取組物質が含有されているが、耐候性、防水性又防汚性などの、維持管理上の要求機能（性能）を満たす必要がある場合に、その使用範囲を限定して使用する材料。<br>※　B区分の材料を使用する場合は、工事全体での使用量の割合、使用居室の換気量や、その居室の継続使用時間などを考慮の上選択するものとする。<br>※　選定材料表・・・別表１．２<br>⑤．施工上の対策 ／ （1）選定した材料の確認<br>特に、現場施工用接着剤については、製品安全データシート（MSDS ※1）等安全工事請負者は建材の納入に先立ち、材料承諾願いを提出し、工事監理者の確認を受ける。<br>性を確認できる資料を材料承諾願に添付し確認を行う。また、必要に応じ成分表・危険物表示データを添付し、確認を受けること。<br>（2）塗布量の管理<br>塗料・接着剤は必要以上に塗布しないよう、塗布量管理の徹底を図る。<br>（3）工程管理<br>使用開始時までの十分な放散時間を確保した工程を設定するよう努める。<br>製作家具にあっては（1）の確認を経たのち製作、納入すること。<br>（4）その他<br>上記（1）以外の建材についても現場内に不必要に持ち込まず、また使用しないこと。<br>AB区分選定材料表　別表１<br>名称 ／ 選定規格又は品名 ／ 区分<br>合板 ／ 日本農林規格（JAS）のF☆☆☆☆規格品 ／ A<br>パーティクルボード MFD ／ 日本工業規格（JIS）のF☆☆☆☆規格品 ／ A<br>フローリング ／ 単層、複合フローリング ／ A<br>非木質フローリング ／ ポリオフィレン系床材又はリノリウム床材 ／ A<br>壁紙 ／ 壁装材料協会「生活環境の安全に配慮したインテリア材料に関するガイドライン」（ISM）適合品又は同等品 ／ A<br>接着剤 ／ 天然素材原料、F☆☆☆☆規格品 ／ A<br>屋内使用塗料 ／ 天然素材原料、F☆☆☆☆規格品 VOCの放散が極力少ないもの ／ A、B<br>屋外使用塗料 ／ 屋内への影響がない場合 ／ B、C<br>※屋内への影響がある場合 ／ A、B<br>天井材 ／ 石膏ボード、けい酸カルシウム板、ロックウール吸音板 ／ A<br>木材保存剤 ／ 工場加工注入処理品（使用箇所は床組等で、直接コンクリートに接する木材のみとする） ／ B<br>防蟻剤 ／ 薬剤処理を行わない代替法 ／ A<br>C区分選定材料表　別表２<br>名称 ／ 使用部位 ／ 選定規格又は品名 ／ 要求機能<br>建築材料 ／ 使用者、利用者が常駐しない場所 ／ A、B区分以外 ／ 特殊性能を要求をする必要がある場合<br>27 ／ 計画通知に係る申請料及び中間完了検査費用は本工事に含む<br>㉘ ／ 工事に伴う道路使用許可，占用許可申請は本工事に含む |
| ② 仮設工事 | ①足場その他 | （2.2.4）<br>・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 |
| | ②監督職員事務所 | （2.3.1）<br>※設ける　⊙設けない |
| | ③工事用水 | 構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償：メーター設置のこと　・無償） |
| | ④工事用電力 | 構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償：メーター設置のこと　・無償） |
| ③ 土工事 | ①埋戻し及び盛土 | 埋戻し及び盛土の種別　（3.2.3）<br>・A種　適用場所（　　）<br>⊙B種　適用場所（基礎・埋め戻し）<br>・C種　適用場所（　　）土質（　）受渡場所（　）<br>・D種（細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）<br>適用場所（　　） |
| | ②建設発生土の処理 | （3.2.5）<br>※現場説明書による　⊙構外搬出適切処理<br>・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し（監督員に確認）<br>・残土受入先があった場合設計変更の可能性あり |
| | 3 山留めの存置 | 存置範囲（※図示　・　）　（3.3.3） |
| ⑤ 鉄筋工事 | ①鉄筋 | 鉄筋の種類　（5.2.1）<br>種類の記号 ／ 呼び径(mm) ／ 備考<br>⊙SD295A ／ D16以下 ／<br>・SD345 ／ ／<br>・SD390 ／ ／<br>・ ／ ／ |
| | ②溶接金網 | 形状等　（5.2.2）<br>種類 ／ 種類の記号 ／ 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) ／ 使用部位<br>⊙溶接金網 ／ ／ Φ6@200 ／<br>・鉄筋格子 ／ ／ ／ |
| | ③鉄筋の継手 | 継手方法等　（5.3.4)(5.5.2)(5.5.3）<br>部位 ／ 継手方法 ／ 呼び径(mm)<br>柱、梁の主筋 ／ ・ガス圧接（D19 以上）・機械式継手　・溶接継手 ／<br>耐力壁の鉄筋 ／ ・重ね継手　・ ／<br>その他の鉄筋（　　） ／ ・重ね継手　・ ／<br>耐力壁の重ね継手の長さ　（5.3.4）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(2)）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(3)）<br>継手位置図　（5.3.4）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1，6.1，7.1，7.3，8.1）<br>・　50以上 |
| | ④鉄筋の定着の方法及び長さ | 鉄筋の定着方法　（5.3.4）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)）<br>・<br>鉄筋の定着の長さ　（5.3.4）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)）<br>・ |
| | ⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む） | 最小かぶり厚さ　（5.3.5）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表4.1）<br>・<br>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無<br>⊙無し<br>・有り　適用箇所（　　）<br>主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する<br>軽量コンクリートで土に接する部分<br>⊙無し<br>・有り　適用箇所（　　）<br>・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　）mm<br>・<br>耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）<br>⊙無し<br>・有り　適用箇所（　　）<br>・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　）mm<br>・ |
| | 6 機械式継手 | 鉄筋相互のあき（機械式継手及び溶接継手を除く）　（5.3.5）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）<br>使用箇所<br>・図示による（　　）　・<br>H12建告第1463号に適合する性能　（5.5.2）<br>・A級　・<br>機械式継手の種類及び工法　（　　）　（5.5.2）<br>鉄筋相互のあき　（5.3.5）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）<br>品質の確認方法　（5.5.2）<br>・図示による（　　）<br>不良となった継手の修正方法等　（5.5.2）<br>・図示による（　　） |
| | 7 溶接継手 | 使用箇所<br>・図示による（　　）　・<br>H12建告第1463号に適合する性能　（5.5.3）<br>・A級　・<br>鉄筋相互のあき　（5.3.5）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）<br>継手の工法　（5.5.3）<br>・図示による（　　）<br>品質の確認方法　（5.5.3）<br>・図示による（　　）<br>不良となった継手の修正方法等　（5.5.3）<br>・図示による（　　） |
| | ⑧各部配筋 | 各部配筋　（5.3.7）<br>・図示による（構造関係共通図（配筋標準図））<br>・ |
| | ⑨圧接完了後の試験 | 外観試験　（5.4.9)(5.4.10）<br>※行う（全数）<br>抜取試験　（5.4.9)(5.4.10）<br>※超音波探傷試験<br>・引張試験<br>試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 |
| | 図面名称 | 特記仕様書-1 | 整理番号 |
| | 縮尺 | ― | 図面番号<br>002 |

## ⑥ コンクリート工事

※土木工事は仕様図による。

### ① コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

⊙普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)

| 設計基準強度（N/mm²） | スランプ | 適用箇所 |
|---|---|---|
| ・ 図示 | | |
| | | |
| | | |
| | | |

・軽量コンクリート (6.2.1～6.2.3)(6.10.1～6.10.2)

| 設計基準強度（N/mm²） | スランプ | 適用箇所 |
|---|---|---|
| ・ | | |
| ・ | | |

### ② コンクリートの類別

類別 (6.2.1)
◉1類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・2類（JIS A 5308に適合したコンクリート）
・適マーク取得工場

### ③ セメント

種類 (6.3.1)
◉普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする） 使用部位（ ）
・高炉セメントB種 Ⓖ 使用部位（ ）
・フライアッシュセメントB種 Ⓖ 使用部位（ ）

### ④ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
◉A ・B

### ⑤ 混和材料

⊙混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(d)(ｱ)による ・

⊖混和材 (6.3.1)
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(d)(ｱ)による ・

### ⑥ 気乾単位容積質量

⊙普通コンクリート (6.2.3)
・2.3t/m³程度 ・

・軽量コンクリート (6.10.1)
・

### 7 軽量コンクリート

種類 (6.10.1)
・1種 ・2種

適用箇所
・図示による（ ） ・

### 8 寒中コンクリート

適用期間 (6.11.1)
・図示による（ ） ・
・積算温度を基に定める場合
・図示による（ ） ・

### ⑨ 暑中コンクリート

構造体強度補正値 (6.12.2)
◉6N/mm² ・

### 10 マスコンクリート

適用箇所 (6.2.1)(6.13.1)
・図示による（ ） ・

セメントの種類 (6.13.2)
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 Ⓖ
・フライアッシュセメントB種 Ⓖ
・普通ポルトランドセメントに標準仕様書6.13.2(b)(2)の混和材を混合したもの
・

混和材料
・混和剤 (6.13.2)
混和剤の種類
※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤
・

スランプ (6.13.2)
※15cm ・

### 11 無筋コンクリート

設計基準強度 (6.14.1)
※18（N/mm²）

スランプ (6.14.1)
※15cm 又は 18cm ・

適用箇所 (6.2.1)(6.14.1)
※標準仕様書6.14.1(e)による箇所
・図示による（ ）

### 12 流動化コンクリート

適用箇所 (6.2.1)(6.15.1)
・図示による（ ）

### ⑬ ひび割れ誘発目地打継目地

目地寸法 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3)
⊙標準仕様書9.7.3による ・

間隔、位置、形状 (6.8.2)
⊙図示による

### ⑭ コンクリートの仕上り

部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5)
⊙標準仕様書表6.2.3による ・

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.3)

| 種 別 | 適用箇所 |
|---|---|
| ・A種 | |
| ・B種 | |
| ・C種 | |

### 15 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） (6.8.2)
・20mm ・
打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm ・20mm ・ 15

### ⑯ 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.3)
⊙合板（※12mm ・ ）

断熱材の兼用
⊙行わない ・行う
(6.8.3)

MCR工法用シート
・用いる (6.8.3)
打増し厚さ
・20mm ・
打増し範囲
・図示による（ ） ・
・用いない

スリーブの材種 (6.8.3)
※標準仕様書6.8.3(1)(2)(ｱ)から(ｱ)による ・

### ⑰ コンクリートの単位水量測定

実施要領
⊙図示による（構造関係共通図（構造関係共通事項）構－4施工方法等計画書関連等コンクリートの単位数量測定）
・

## ⑮ 左官工事

### ① モルタル塗り

既製目地材 ⊙設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ） (15.2.2.5)
・設けない

床目地 ⊙設ける（工法※押し目地 ・ ）
・設けない

外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験
・適用する
・適用しない

⊖防水剤

### 2 床コンクリート直均し仕上げ

下表以外は標仕15.4による (15.4)

| 施工箇所 | 平たんさ（mm） | 備 考 |
|---|---|---|
| ・フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲 | 1mにつき10以下 | |
| ・フリーアクセスフロア（溝構法）範囲 | 3mにつき7以下 | |
| ・ | | |

### 3 セルフレベリング材塗り

・せっこう系 ・セメント系 (15.4.2)（表15.4.1）

### 4 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
仕上塗材の種類

| 種類 | 呼び名 | 防火材料 | 仕上げの形状及び工法等 |
|---|---|---|---|
| ・薄付け仕上塗材 | ・外装薄塗材Si | ・ | ・砂壁状（軒裏） |
| | ・可とう形外装薄塗材Si | ・ | ・ゆず肌状（・吹付け ・ローラー塗り） |
| | ・外装薄塗材E （軒裏） | ・ | ・さざ波状 |
| | ・可とう形外装薄塗材E | ・ | ・平たん状 |
| | ・防水形外装薄塗材E | ・ | ・凹凸状（・吹付け ・こて塗り） |
| | ・外装薄塗材S | ・ | ・着色骨材砂壁状（・吹付け ・こて塗り） |
| | ・内装薄塗材C | ・ | ・砂壁状じゅらく |
| | ・内装薄塗材L | ・ | ・京壁状じゅらく |
| | ・内装薄塗材Si | ・ | |
| | ・内装薄塗材E | ・ | 吸放湿性 ・適用する ・適用しない |
| | ・内装薄塗材W | ・ | 耐湿性 ・適用する ・適用しない |
| ・厚付け仕上塗材 | ・外装厚塗材C | ・ | ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 |
| | ・外装厚塗材Si | ・ | ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし |
| | ・外装厚塗材E | ・ | |
| | ・内装厚塗材C | ・ | 吸放湿性 ・適用する ・適用しない |
| | ・内装厚塗材L | ・ | 上塗材 ・適用する ・適用しない |
| | ・内装厚塗材G | ・ | |
| | ・内装厚塗材Si | ・ | |
| | ・内装厚塗材E | ・ | |
| ・複層仕上塗材 | ・複層塗材CE | ・ | ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 |
| | ・可とう形複層塗材CE | ・ | |
| | ・複層塗材Si | ・ | 上塗材 |
| | ・複層塗材E | ・ | 耐候性 ※耐候形3種 ・ |
| | ・複層塗材RE | ・ | 溶 媒 ※水系 ・溶剤系 |
| | ・防水形複層塗材CE | ・ | 樹 脂 ※アクリル系 ・ |
| | ・防水形複層塗材E | ・ | 外 観 ※つやあり ・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ |
| | ・防水形複層塗材RE | ・ | |
| | ・防水形複層塗材RS | ・ | 増塗材 ・適用する ・適用しない |
| ・軽量骨材仕上塗材 | ・吹付用軽量塗材 | ・ | |
| | ・こて塗用軽量塗材 | ・ | |

・外装厚塗材 セラミックシリコン樹脂厚塗材
エススケー化研？ 「ベルアートSi トラバーチン仕上」 同等品以上
・内装薄塗材E アクリル系薄塗材
アイカ工業 「ジョリパットシルキーパレット マイルドブラスターランダム仕上」
JQ-55（ホルムアルデヒド吸着分解・調湿機能・不燃）

### ⑤ RCパネルの場合の下地処理

TB-85-21-1137(トーヨーマテラン) 同等品以上

### 6 マスチック塗材塗り

(15.6.2)
種別 ・A種 ・B種（仕上材塗り:EP-G ※B種 ・A種）

### 7 ロックウール吹付け

(15.8.2)
ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
吹付け厚さ（mm） ・図示 ・25 ・

## ㉑ 排水工事

### ① 排水管

(21.2.1)(表21.2.1)(21.2.3)

| 材 種 | 管の種類 | 形 状 | 呼び径 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| ・遠心力鉄筋コンクリート管 | 外圧管（1種） | ・B形管 ・ | ・図示 ・ | |
| ⊙硬質ポリ塩化ビニル管 | ・VP | | ・図示 ・ | |
| | ・VU | | ・図示 ・ | |
| | ・RS－VU Ⓖ | | ・図示 ・ | |

基床の厚さ及び種類 ・図示 ・
砂地業に用いる材料
※標準仕様書（21.2.3）(a)(1) ・図示
砂利地業に用いる材料
※標準仕様書（21.2.3）(a)(2) ・図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書（6.14）
設計基準強度18N/mm2 とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比） セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・図示

### ② 側塊、排水桝等

(21.2.2)
側塊、排水桝等
形状及び寸法 ・図示
砂地業に用いる材料 ※標準仕様書（21.2.3）(a)(1) ・図示
砂利地業に用いる材料 ※標準仕様書（21.2.3）(a)(2) ・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書（6.14）
設計基準強度18N/mm2 とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比） セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・図示

### 3 鋳鉄製ふた

(21.2.2)

| 名 称 | 種 類 | 適用荷重 | 鍵 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| 鋳鉄製マンホールふた | ・水封形<br>・簡易密閉形（パッキン式）<br>・密閉形（テーパ・パッキン式）<br>・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） | ・T－ 2用<br>・T－ 6用<br>・T－20用<br>・ | ・有り<br>・無し | 左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による |

### 4 グレーチング

(21.2.2)

| 材 質 | 形 式 | 用 途 | 適用荷重 | メインバーピッチ | 垂鉛めっき（付着量） | 上面形状 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・鋼製 | ・受枠付き、ボルト固定<br>・ | ・溝ふた（横断用）<br>・溝ふた（側溝用）<br>・桝ふた用<br>・U字溝用 | ・歩行用 | ・細目 | ・（ ） | ・凹凸形<br>・ |
| | | | ・T－2用<br>・T－6用<br>・T－14用<br>・T－20用 | ※普通目<br>・細目 | ・（ ） | ・平形<br>・ |
| ・ステンレス製 | ・受枠付き、ボルト固定<br>・ | ・溝ふた（横断用）<br>・溝ふた（側溝用）<br>・桝ふた用<br>・U字溝用 | ・歩行用 | ・細目 | － | ・凹凸形<br>・ |
| | | | ・T－2用<br>・T－6用<br>・T－14用<br>・T－20用 | － | － | ・平形<br>・ |

### 5 街きょ、縁石、側溝

街きょ、縁石、側溝 (21.4.1)（表21.4.1）

| 種 類 | 形状、寸法 |
|---|---|
| ・縁石 | ・図示 ・ |
| ・L形側溝 | ・図示 ・ |
| ・U形側溝 | ・図示 ・ |
| ・U形側溝ふた | ・図示 ・ |
| ・可変側溝 | ・図示 ・ |
| ・暗渠排水管 | ・図示 ・ |
| | |

地業の材料 ※標準仕様書（4.6.2）(a)による ・図示
砂利地業の厚さ ※100（mm） ・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書（6.14）
設計基準強度18N/mm2 とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比） セメント1：砂2：砂利4程度とする。
・図示

### ⑥ 埋戻し土

◉B種 (21.2.3) (3.2.3)

## ㉒ 舗装工事

### ① 路床

路床の材料 (22.2.2.3.5)（表22.2.2）

| 種 別 | 材 料 | 厚 さ（mm） |
|---|---|---|
| ・盛土 | ・A種 ・B種 ・C種<br>・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ | ・図示<br>・ |
| ・遮断層 | ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下）<br>・ | ・図示<br>・ |
| ・凍上抑制層 | ・再生クラッシャラン Ⓖ ・クラッシャラン<br>・切込み砂利<br>・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下） | ・図示<br>・ |
| ・フィルター層 | ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）<br>・ | ・図示<br>・ |

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 Ⓖ
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg（目標CBR ・5以上 ・ ）
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上 ・
厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・
引張強さ ・98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ・
透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec以上 ・
試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない

### 2 路盤

(22.3.2.3.5)(表22.3.1)
路盤の厚さ ・図示 ・
路盤材料 ・砕石
・再生クラッシャラン Ⓖ
・クラッシャラン鉄鋼スラグ Ⓖ
・ ・図示
試験
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

### 3 アスファルト舗装

(22.4.2～6)(表22.4.1.5)
アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・
材料
アスファルト ・再生アスファルト Ⓖ ・ストレートアスファルト
骨材 ・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.5)

| 区 分 | 地 域 | 種 類 |
|---|---|---|
| 表層 | ・一般地域 | ・密粒度アスファルト混合物（13）<br>・細粒度アスファルト混合物(13) |
| | ・寒冷地域 | ・密粒度アスファルト混合物(13F)<br>・細粒度アスファルト混合物(13F) |
| 基層 | 一般及び寒冷地域 | 粗粒度アスファルト混合物(20) |

シールコートの施工
・行う ・行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

### ④ コンクリート舗装

(22.5.2～4.6)(表22.5.1.4)
コンクリート舗装の厚さ

| 舗装の種類 | 部 位 | 厚 さ（mm） |
|---|---|---|
| コンクリート舗装 | 車道部 | ・図示 ・150 ・ |
| | 歩道部 | ・図示 ⊙70 ・ |
| 転圧コンクリート | 車道部 | ・図示 ・150 ・ |

縁部立下り寸法等 ・図示
材料
コンクリート ⊙標準仕様書表22.5.2による ・ ・図示
早強セメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
転圧コンクリートの工法 ※図示
目地
種類、間隔、構造 ◉標準仕様書表22.5.4及び図22.5.1による ・図示
試験
コンクリート版厚さの試験 ・行う ・行わない

### 11 カラー舗装

(22.6.2～4)(表22.6.1)

| 種 類 | 部 位 | 車道部の基層 | 厚 さ（mm） |
|---|---|---|---|
| ・加熱系 | ・アスファルト混合物<br>・石油樹脂系混合物 | ・車道部<br>・歩道部 | ・無し<br>・有り | ・図示<br>・ |
| ・常温系 | ・ | | | |

舗装厚さの許容差 ※標準仕様書（22.4.2(C)）による ・
材料
添加する材料 ・着色骨材（ ） ・自然石（ ）
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・
樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等 ・

### 6 透水性アスファルト舗装 Ⓖ

(22.7.2.3.6)

| 材 料 | 厚 さ（mm） |
|---|---|
| ストレートアスファルト | ・図示 ・ |

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>003 |
| | 図面名称 | 特記仕様書-2 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | ― | | |

7 排水性
アスファルト舗装 G

(22.8.3)（表22.7.1）

| 区 分 | 種 類 | 材 料 | 厚 さ (mm) |
|---|---|---|---|
| 表 層 | ・排水性舗装用アスファルト混合物<br>・ | ・ポリマー改質アスファルトⅡ型<br>・ | ・図示<br>・ |
| 基 層 | ・加熱アスファルト混合物等<br>（密粒度アスファルト混合物）<br>・ | ・再生アスファルト G<br>・ストレートアスファルト | ・図示<br>・ |

舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

8 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.9.2.3)

| 種 類 | 寸法 (mm) | 厚さ (mm) | 目地材 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| ※普通平板 (N)<br>・透水平板 (P) | ※300角<br>・300x600角 | ・60<br>・ | ※砂<br>・モルタル | 表面加工<br>・研ぎ出し<br>・洗い出し<br>・たたき出し |

歩道部に使用するコンクリート平板は　（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板は G（透水性コンクリート）とする。
仕上がり面の平たん性　※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内
・

・インターロッキングブロック舗装 (22.9.2.3)

| 種 類 | 部 位 | 厚さ (mm) | 曲げ強度 (N/mm2) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| ※普通ブロック (N)<br>・透水性ブロック (P)<br>・ | 車道部<br>歩道部<br> | ※80 ・<br>※60 ・<br> | ※5.0 ・<br>※3.0 ・<br> | 色彩、表面加工<br>・標準品<br>・ |

歩道部に使用するブロックは　（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板は G（透水性コンクリート）とする。
仕上がり面の平たん性　※歩行に支障のないものとし、ブロック間の段差3mm以内
・

・舗石舗装 (22.9.2.3)

| 種 類 | 寸法 (mm) | 厚さ (mm) | 施工方法 | 基 層 |
|---|---|---|---|---|
| ・小舗石（花崗岩）<br>・ | ・300x600<br>・ | ・80<br>・ | ・うろこ張り<br>・ | ・コンクリート舗装<br>・アスファルト舗装 |

仕上がり面の平たん性　※歩行に支障のないものとし、舗石間の段差3mm以内

9 砂利敷き

(22.10.1)

種別　・A種（施工範囲：　・図示　・通路　・　）
　　・B種（施工範囲：　・図示　・建物周囲他　・　）

10 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

| 種 類 | 施 工 | 適 用 | 色 | 幅 (mm) | 塗布厚さ (mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| ・1種 G | 常温 | 液状 | ・白<br>・ | ・150<br>・100 | ・1.0<br>・ |
| ・2種 G | 加熱 | | | | |
| ・3種 | 溶融 | 粉体状 | | | |

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

11 整地

・図示

23 植栽及び芝生植付工事

1 植栽地の確認等

(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度（pH）試験　・行う　・行わない
水溶性塩類（EC）の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備

(23.2.2)(23.2.4)

| 植 栽 | 工 法 | 有効土層の厚さ (cm) | 整備範囲 | 土壌改良材 |
|---|---|---|---|---|
| ・樹木 | ※A種<br>・B種<br>・C種<br>・D種 | 樹高12m以上<br>（※100 ・120 ・150）<br>樹高7m以上～12m未満<br>（※80 ・100）<br>樹高3m以上～7m未満<br>（※60 ・80）<br>樹高3m未満<br>（※50 ・60） | ・実張り部分<br>・植栽部分<br>・図示<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |
| ※芝、地被類 | ※B種<br>・ | ※20<br>・ 50 | ・植栽部分<br>・図示<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |

植栽基盤の排水設備　・投ける（※図示　・　）
　　・投けない

3 植込み用土

※現場発生土の良質土　・客土　(23.2.3)

4 土壌改良材

(23.2.3)

・バーク堆肥 G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり　（ ・50ｌ　・　）

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり　（ ・10ｌ　・　）
材料
・
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を
使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

5 樹木

(23.3.2)

樹種、寸法、株立数等　※図示　・

6 支柱

(23.3.2.3)

支柱材　※丸太（間伐材）　・鋼管　・
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　・

7 幹巻き用材料

材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　(23.3.2)

8 芝

(23.4.2)

種類
※コウライシバ　・ノシバ
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種

(23.4.2)

| 種子の種類 | 発芽率 | 種子の量 (g/㎡) | 備 考 |
|---|---|---|---|
| ※洋芝類（採取後2年以内） | ※発芽率80%以上 | | |
| ・ | ・ | | |

10 地被類

(23.4.2)

| 樹 種 | コンテナ径 | 単位面積当たりのコンテナ数 | 芽立数 |
|---|---|---|---|
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | | |

11 新植、移植樹木、芝等の枯保証

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)
※引渡しの日から１年　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から１年　・無し

12 屋上緑化 G

植栽基盤及び材料　(23.5.2.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成形品
植込み用土　※改良土　・人口軽量土
樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等　※図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・

・屋上緑化軽量KU+FF7CKU+FF7DKU+FF83KU+FF91　(23.5.3)
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・

(23.5.4)
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の）風圧力及び
積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
支柱　・設置する（形式　・図示　・　）
かん水装置　・設置する（種類　・　・　）

24 造成工事

1 法面整形

・図示
・法面　種子吹付　3種混合（外来種を除く）

26 その他

1 フェンス　縦格子目隠しフェンスH1800　（積水樹脂(株)ET50HC同等品以上）

2 小運搬　トイレ本体積み替えの小運搬

3 多目的トイレ鍵　美和ロック　8342C78VBP　同等品以上

4 分電盤鍵　パナソニック（松下）純正子鍵MZ00番　同等品以上

# 機械設備工事

## ● 給水設備

● 配管材料
(1) 一般配管　○塩ビライニング鋼管（VA）　●耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）
　○塩ビライニング鋼管（VD）（埋設部　●被覆架橋ポリエチレン管（JIS）
(2) 地中埋設配管　○塩ビライニング鋼管（VD）　●耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）
　○ステンレス鋼鋼管（SUS 316）●SGP100-VD
(3) 水道直結配管　○引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は
　○耐衝撃性硬質塩化ビニル管とし、他の部分は(1)による。
○ 水栓　○台所流し用の水栓は泡沫式とする。
　●水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
　（●ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。）
○ 量水器　○親メーター（　）（○貸与品　○　）
　○子メーター（　）（○買い取り　○　）
○ 量水器桝　○水道事業者指定品（○貸与品　○買い取り）　○標準図MC形
● 弁類　JIS又はJV　●水道直結部分（●10K　○　）
　●その他の部分（●5K　○　）
　○ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。
● 管の地中埋設深さ　管の上端より原則として、一般敷地は（ 45 cm）構内道路は（ 60 cm）以上とする。
○ 水栓柱　○合成樹脂製　○アルミニウム合金製　○人造石とぎ出し製　○ステンレス鋼製
○ 建物導入部配管　標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の ○（a）　○（b）　○（c）による。
○ 引込納付金等　○要（○別途工事　○本工事）●不要

## ● 排水設備

● 配管材料
(1) 屋　内　汚水管　○硬質塩化ビニル管（VP）　○耐火二層管（立管）
　雑排水管　●硬質塩化ビニル管（VP）　○耐火二層管（立管）
　通気管　●硬質塩化ビニル管（VP）　○耐火二層管（立管）
　ポンプアップ管　○排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管
(2) 屋　外　第一桝まで　○排水用塩ビライニング鋼管
　●硬質塩化ビニル管（VP）
　桝間　●硬質塩化ビニル管（VU）
● 洗面器等の排水管　洗面器に直結する排水管は、器具トラップよりリサイズアップとする。
　台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（RF－VP）でもよい。
○ 満水試験継手　○標準仕様書第2編2.4.8(f)による　○図示の箇所に取付ける。
○ 放流納付金等　○要（○別途工事　○本工事）●不要

## ● 消火設備

● 配管材料
（1）屋内消火栓　一般 ●配管用炭素鋼鋼管（JIS-G-3452　白）
　地中 ○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（WSP-041）
（2）防火用水　一般 ○配管用炭素鋼鋼管（JIS-G-3452　白）
　地中 ●内外面ライニング鋼管(SGP-VD)
（3）消火器　●ABC消火器　10型×　4本
○ 保温　屋外露出配管は標準仕様書第2編3.1.5 e ・（ハ）・取による保温を行う。
　ただし、防凍保温は共通事項による。
○ 建物導入部配管　標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）○（a）　○（b）　○（c）による。

## ● メーカーリスト

| | |
|---|---|
| ビニル管 | 積水化学、クボタケミックス、三菱樹脂 |
| 鋼管 | 日鉄住金鋼管、ＪＦＥスチール、丸一鋼管 |
| 樹脂管 | 未来工業、積水化学、三井化学、クボタ、テラル |
| ライニング鋼管 | 新日鐵住金、積水化学、多久製作所、ＪＦＥスチール、三菱樹脂 |
| ステンレス管 | 日鉄住金、ＪＦＥスチール、ナストーア、モリエ業 |
| 断熱材 | 内外、ミヤデラ、旭ファイバー、ニチアス、パラマウント |
| 弁類 | ＫＩＴＺ、東洋バルブ、三吉バルブ、大和バルブ |
| 衛生器具・水栓類 | ＬＩＸＩＬ、ＴＯＴＯ |
| 消火器具 | 横井製作所、立売堀製作所、初田製作所、ヤマトプロテック、モリタ宮田 |
| 排水金物類 | ダイドレ、福西鋳物、伊藤鉄工、オオタケファンドリー |
| 散水栓BOX | カクダイ626-101　同等 |

## ● 衛生器具設備

| | |
|---|---|
| ● 衛生器具付属水栓 | 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 |
| ○ 和風大便器耐火カバー | ○設ける（ピット内は除く）　○設けない |
| ○ 洗面器 | 手洗器は止水栓付とする。 |
| ○ 標記板 | ○取り付け箇所　（○大便器　○小便器）　材　質（○　） |
| ○ 小便器自動洗浄装置 | 小便器自動洗浄装置及び組込み小便器の洗浄水量は４Ｌ／回以下とし、使用状況により洗浄水量を制御できるものとする。 |
| ● 洋風大便器 | 洗浄水量が５．０Ｌ／回以下のものとする。 |
| ● 衛生器具ユニット | ユニットの配管材料は、別図衛生器具ユニットの仕様表による。 |
| ○ 幼児用便器 | 洗浄水量が８．０Ｌ／回以下のものとする。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>004 |
| | 図面名称 | 特記仕様書3 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | ― | | |

# 公園トイレ更新工事（芦原公園）　設備工事特記仕様書

仕様書

一、工事概要

1. 工事場所　　箕面市萱生新家2丁目15　箕面東公園内

2. 建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 延べ面積 (m)² | 消防法施行令 別表第一 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 公園トイレ（箕面東公園） | RC造 | 地上1階 | 18.510㎡ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

（（注）延べ面積は建築基準法による表記）

3. 工事種目（○印のついたものを適用する）

| 工事種目 ＼ 建物別及び屋外 | 工事種別 | | | | | 屋外 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 図書館 | | | | | |
| ◎ 電灯設備 | ● 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 動力設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 電熱設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 雷保護設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 受変電設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 静止形電源設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 発電設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 構内情報通信網設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 構内交換設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 情報表示設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 映像・音響設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 拡声設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ インターホン設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ テレビ共同受信設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 監視カメラ設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 電気時計設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 防犯・入退室管理設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 自動火災報知設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| ・ 中央監視制御設備 | 一式 | 一式 | 一式 | | | |
| | | | | | | |
| ・ 構内配電線路 | | | | | | 一式 |
| ・ 構内通信線路 | | | | | | 一式 |
| ・ テレビ電波障害防除設備 | | | | | | |
| | | | | | | |
| ・ | | | | | | |
| ・ | | | | | | |
| ・ | | | | | | |
| ・ | | | | | | |

4. 指定部分　・無　・有（　　）

二、工事仕様

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| ① | 一般事項 | |
| | ①₁ 特記仕様書の適用方法 | ＊表中の各欄に○印を付けていない場合は＊印の事項を適用する。<br>＊○印を付けていない項目はすべて適用しない。 |
| | ②₁ 適用 | 一般仕様として以下の標準図を適用する。<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　最新版<br>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　最新版<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　最新版<br>（上記は以下「標準仕様書」という）<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　最新版<br>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）　最新版<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）　最新版<br>（以下「改修標準仕様書」という）<br>一般仕様として以下の標準図を適用する。<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事標準詳細図　最新版<br>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）　最新版<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）　最新版 |
| | ③₁ 優先順位 | 本工事は以下の設計図書に基づき施工する。その適用にあたっての優先順位は下記の番号順とする。<br>（1）質疑回答書　（2）現場説明事項　（3）特記仕様書　（4）設計図面<br>（5）改修標準仕様書　（6）標準仕様書　（7）標準図 |
| | ④₁ 官公庁その他への手続き | 工事施工に必要な官公庁その他への手続きは、すべて工事施工者がその費用を負担して速やかに行う。 |
| | ⑤₁ 既設部分との取合い | 発生材のうち特記及び監督員の指示により、引渡しを要するものは指示された場所に整理し、その他発生材についてはすべて場外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理する。 |
| | ⑥₁ 別契約の関連工事 | 既設部分と本工事部分の取合い等において、本工事範囲外の部分に汚染、損傷を生じた場合、工事施工者がその費用を負担して原型と同仕様にて補修を行う。<br>別契約の関連工事については、監督員の指示により、当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。 |
| | ⑦₁ 発生材の処理 | 発生材のうち特記及び監督員の指示により、引渡し要するものは指示された場所に整理し、その他発生材については全て場外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理する。 |
| | ⑧₁ 分別解体等 | 工事に伴い副次的に生ずる建築資材廃棄物は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律を遵守し、その種類ごとに分別しつつ施工すること。 |
| | ⑨₁ 建設副産物の処理 | 建設副産物の処理の方法は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等を遵守して行うこと。処理方法については、現場説明書等による。又、監督職員が指示する場合は処理地への搬入日時、処理時の写真等を報告書にまとめて提出すること。 |
| | ⑩₁ 再生資源化を図る建設副産物 | 建設発生木材、（　　）とする。<br>再資源化を図る建設副産物の処理地は、再資源化を行っている中間処理場とする。ただし、受入側の事情等やむを得ない事情により、処理地を変更する場合は監督職員の承諾を得なければならない。 |
| | ⑪₁ 建設機械 | 低騒音型または排ガス対策型の機械を使用すること。 |
| | ⑫₁ 特別管理産業廃棄物 | ・有（　　）　＊無 |
| | ⑬₁ 災害、公害、危険防止及び | 工事施工に伴う災害及び公害の防止は、関係法令等に従い適切に処理する。工事中に発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては、施工者の責任において解決し、必要があれば、協定書を取り交わ |
| | ⑭₁ 保険 | 工事に先立ち、以下の保険に加入すること。<br>○火災保険<br>○建設工事保険<br>・組立て保険<br>○労働災害総合保険<br>○請負業者賠償責任保険<br>○建設業退職金共済制度 |
| | ⑮₁ 提出書類 | 着工時（着工日より5日以内に提出）<br>○市の指定する書類（着工届　　他）　1部　A3又はA4<br>○施工計画書　1部　A4版<br>施工中<br>○工事工程表　1部　A3又は A4版<br>○工事日報　1部　A4版<br>○各種測定記録　各1部　A4版<br>○各種試験報告書　各1部　A4版<br>○各施工図　各1部　A1又は A2版<br>○施工体制台帳及び施工体系の写し　各1部<br>○打合せ報告書　1部　A4版<br>○その他監督員の指示する書類<br>竣工時（竣工日に提出）<br>○竣工届　1部　A4版<br>・工事写真（カラーサービス版又はデジタルカメラ撮影、A4写真帳整理）　1部<br>着工前，施工中，見え隠れ部分，完成等<br>・竣工図（2つ折り製本文字入り）　3部　A1版<br>○竣工図（2つ折り製本文字入り）　3部　A3版<br>・竣工図原図　1部　A1版<br>○竣工図データ（CAD（DXF形式互換）により作成CD-Rにて提出）　1式<br>・施工図（2つ折り製本文字入り）　1部　A1版<br>○納品書・出荷証明書（ファイル製本）　1部　A4版<br>○竣工引き渡し書（指定様式）　1部　A4版<br>○工事記録その他監督員の指示する書類 |
| | ⑯₁ 安全対策 | ＊本工事の施工に当たり、隣接建物及び工作物並びに通行人等に損傷を与えないように危険表示の設備、必要な保護設備を設け、交通及び保安上の配慮を行い、監督員及び管轄各所の承諾を受けて安全な工事の実施を期するものとする。 |
| | ⑰₁ 総合図 | ○工事着手と同時に、各階施工平面詳細図及び天井伏図（床・壁・天井に付く設設備も一括表示したもの）を速やかに作成し監督員に提出のうえ承諾を得ること。 |
| | ⑱₁ 現場処理 | ＊現場の納まり、取り合わせ等の関係で、材料の寸法・取付位置又は取付方法を多少変え、或いは、これらによって取付材料の材質、数量を幾分変更するなどの軽微な変更は、監督職員の指示によって行う。この場合契約金額の変更は行わない。 |
| ② | 特記仕様 | |
| | ①₂ 特記仕様書の適用方法 | 1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。<br>2）特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。 |
| | ②₂ グリーン購入法 | 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく特定調達品目「公共工事」の品目<br>・照明制御システム　・変圧器<br>照明制御装置は、社団法人日本照明工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」による総合省エネルギー率33%以上であることを確認する。 |
| | ③₂ 機材等 | 1）本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む。）に規定するものは、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。<br>2）化学物質を発散する建築材料等<br>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。<br>（1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、エリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。<br>（2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。<br>（3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。<br>（4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。<br>（5）上記（1）、（3）及び（4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。<br>なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。<br>また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 |

| ホルムアルデヒドの放散量 | 該当する建築材料 |
|---|---|
| 規制対象外 | ①JIS及びJASの「☆☆☆☆規格品<br>②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品<br>③下記表示のあるJIS規格品<br>a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用<br>b．接着剤等不使用<br>c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用<br>d．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用<br>e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用<br>f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 |
| 第三種 | ①JIS及びJASの「☆☆☆☆規格品<br>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品<br>③旧JISのE0規格品<br>④旧JISのF☆☆☆☆規格品 |

| | |
|---|---|
| ④₂ 機材の品質・性能証明 | 設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。 |
| ⑤₂ 電源周波数 | ・50Hz　○60Hz |
| ⑥₂ 電気工作物の種類 | ・事業用電気工作物　○一般用電気工作物 |
| ⑦₂ 電気保安技術者 | 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。<br>・要　・不要 |
| ⑧₂ 工事用電力・水その他 | 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。 |
| ⑨₂ 監督員事務所 | ・設けない　・設ける |
| ⑩₂ 工事用仮設物 | すべて請負者の負担とする。<br>構内につくることが　・できる　・できない |
| ⑪₂ 足場、さん橋類 | ・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。<br>・本工事で設置とする。（既存建物外壁等の配管配線工事用）<br>・改修工事の場合は、改修標準仕様書第1編.2.1.2によるほか下記による。<br>・内部仮設足場等（・　種　・　種）<br>・外部仮設足場等（・　種　・　種） |
| ⑫₂ 残土処理 | ・現場説明書による。<br>・埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 |
| ⑬₂ 耐震施工 | 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針　2005年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。<br>1）設計用水平地震力<br>機器の重量（kg f）に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。<br>設計用標準水平震度 |

| 設置場所 | 機器種別 | ・特定の施設 重要機器 | ・特定の施設 一般機器 | ・一般の施設 重要機器 | ・一般の施設 一般機器 |
|---|---|---|---|---|---|
| 上層階 屋上及び塔屋 | 機器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振支持の機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水槽類（＊1） | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水槽類（＊1） | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| 地下・1階 | 機器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水槽類（＊1） | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |

【備考】（＊1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・配電盤　・発電装置　・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換機　・自動火災報知受信機　・中央監視装置　・
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

| | |
|---|---|
| ⑭ 電線本数管路など | 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数及び管径等は、監督職員の承諾を受けて図面と相違しても差し支えない。<br>また、機械室等の床配線は図面上所管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。 |
| ⑮ 呼び線 | 長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上の被覆鉄線を挿入する。 |
| ⑯ 金属製電線管の塗装 | 下記の露出配管は塗装を行う。<br>・屋外　・屋内（　　） |
| ⑰ 蛍光灯器具 | 蛍光灯器具の安定器の回路方式、電圧は図面に記載のない場合は次による。 |

| 蛍光灯の種類 | | | 回路方式 | 電圧 |
|---|---|---|---|---|
| 直管形 | HF形 | 図面に記載のない場合 | PH | V |
| | 一般形（20形） | 防雨形器具、防湿形器具<br>電池内蔵形非常用照明器具及び誘導灯 | GL | 100V |
| | | 上記以外のもの | GH | 100V |
| コンパクト形 | H 形 | FP32形　FP45形<br>H16形　H24形　H32形　H42形 | PN | V |
| | 一般形 | D18形　D27形 | EL | 100V |

| | |
|---|---|
| ⑱ 非常用の照明装置の照度測定箇所数 | 測定数　5　箇所以上 |
| ⑲ 電磁開閉器用押しボタン | 遠方操作用押ボタンは、連用形とする。 |
| ⑳ コンセント | 図面に特記なき場合は、コンセント2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。 |
| ㉑ プレートの材質 | フラッシュプレート　○金属製　・樹脂製 |
| ㉒ インバータ装置の規約効率 | 三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。 |

| 電動機出力（kW） | 0.4 | 0.75 | 1.5 | 2.2 | 3.7 | 5.5 | 7.5 | 11 | 15 | 18.5 | 22 | 30 | 37 | 45 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インバータ効率（%） | 85.0 | 87.0 | 88.5 | 89.5 | 90.0 | 90.5 | 91.0 | 91.5 | 92.0 | 92.5 | 93.0 | 93.5 | 94.0 | 94.5 |

備考）（1）インバータ 装置の供給電圧は200V又は400Vクラスとする。

（2）インバータ 効率は、100%負荷時の値とする。

| | |
|---|---|
| ㉕ 地中線の埋設標 | 構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。<br>・鋳製（　箇所）　・コンクリート製（　箇所）　・ 図示 |
| 26 天井仕上げ表示 | 図面において、室名に（ ）を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。 |
| ㉗ 接地極 | 接地極の材料は下記による。なお、接地棒EB（14φ）の長さは1500mm以上とし、10φは＃=30、14φは＃=40としても差し支えない。（雷保護用を除く） |

| ・ 接地の種類 | 記号 | 接地抵抗値 | 接地極 |
|---|---|---|---|
| ・ 共同接地 | E A,D | Ω以下 | EB（14φ）×3連－ 組 |
| ・ 共同接地 | E A,C,D | Ω以下 | EB（14φ）×3連－ 組 |
| ・ A種接地 | E A | 10Ω以下 | 銅板1.5t×900×900 |
| ・ B種接地 | E B | Ω以下 | 銅板1.5t×900×900 |
| ・ C種接地 | E C | Ω以下 | EB（14φ）×3連－ 組 |
| ・ D種接地 | E D | 100Ω以下 | 銅板1.5t×900×900 |
| ・ 高圧避雷器 | E LH | 10Ω以下 | EB（14φ）×3連－2組 |
| ・ 低圧避雷器 | E LL | 10Ω以下 | EB（14φ）×3連－2組 |
| ・ 雷保護用 | E LA | Ω以下 | EB（14φ）×3連－2組 |
| ・ 交換機用 | E t | Ω以下 | EB（14φ）×3連－ 組 |
| ・ 通信用 | E At | 10Ω以下 | EB（14φ）×3連－2組 |
| ・ 通信用 | E Ct | 100Ω以下 | EB（10φ）×1　（L＝1000mm） |
| ・ 測定用 | E Q | | EB（10φ）×1　（L＝1000mm） |

| | |
|---|---|
| ㉓ 取付高さ | 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。 |

| 名称 | 測点 | 取付高［mm］ |
|---|---|---|
| ブラケット（一般） | 床上～中心 | 2,100 |
| ＃　（鏡類） | ＃ | 2,500 |
| ＃　（廊上） | 廊上端～中心 | 150 |
| 避難口誘導灯 | 床上～下端 | 1,500 以上 |
| 廊下通路誘導灯 | 床上～上端 | 1,800 以下 |
| スイッチ（一般） | 床上～中心 | 1,300 |
| ＃　（多機能トイレ） | ＃ | 1,100 |
| コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般） | ＃ | 300 |
| ＃　（和室） | ＃ | 150 |
| ＃　（台上） | 台上～中心 | 150 |
| コンセント（単相） | 床上～中心 | 800 |
| 引込開閉器箱（低圧） | 床上～中心 | 1,500 |
| 分電盤、制御盤、実験盤 | 床上～中心 | 1,500（上端1,800以下） |
| 開閉器箱 | ＃ | 1,500 |
| 電磁開閉器用押しボタン | ＃ | 1,300 |
| 接地用端子箱 | 地上、床上～中心 | 500 |
| 雷保護用接地端子箱 | 床上～下端 | 800 |
| 接地極埋設標 | 地上～中心 | 600 |
| 給油ボックス | 地上～給油口 | 1,000 |
| 中間端子盤（EPS・電気室） | 床上～中心 | 1,500 |
| 親時計 | ＃ | 1,500 |
| 子時計、スピーカ | ＃ | （天井高）×0.9 |
| フッテスータ | ＃ | 1,300 |
| 出退表示盤 | ＃ | （天井高）×0.9 |
| 発信管（出退表示用） | ＃ | 1,300 |
| インターホン | ＃ | 1,300 |
| 外部受付用インターホン子機 | ＃ | 建築図による |
| 呼出ボタン（多機能トイレ） | ＃ | 900 |
| 復帰ボタン（　＃　） | ＃ | 1,800 |
| 廊下表示灯（　＃　） | ＃ | 2,000 |
| テレビ機器収容箱 | ＃ | 1,800 |
| 火報受信機（複合盤） | 床上～操作部 | 800～1,500 |
| 副受信機 | 床上～中心 | 1,500 |
| 自動報機器収容箱 | ＃ | 800～1,500 |
| 発信機 | ＃ | 800～1,500 |
| 警報ベル | ＃ | （天井高）×0.9 |
| 表示灯 | ＃ | （天井高）×0.8 |
| 連動制御器（自動閉鎖） | ＃ | 1,500 |
| ガス漏れ検知器（LPガス） | ＃ | 300 |
| ＃　（都市ガス） | 天井面～中心 | （天井面）-200 |
| | | |

（備考）（天井高）×0.9及び（天井高）×0.8は天井高が2500～3000mmの場合に適用する。

| | |
|---|---|
| 24 施工図等の取設い | 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 |
| 35 施工調査 | ・事前調査<br>調査項目（ 配線ルート、分電盤回路 ）<br>調査範囲（ ／ ）図による<br>・監督職員の指示による。<br>調査方法（ ／ ）図による<br>・非破壊検査（費用は別途） |
| 36 仮設備 | 仮設備項目（・受変電　・発電　・　　）<br>仮設機期間（・図示　・　　・　　） |
| 37 養生 | 養生範囲（ ／ ）図による<br>養生方法（ ／ ）図による |
| ㊳ 電線類 | 下記のEM電線等は、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。 |

| 記号 | 仕様 |
|---|---|
| EM-UTP | JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの |
| EM-CEES | JCS 4258「制御用ケーブル（歪へい付）」に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの |
| EM-MEES | JCS 4271「マイクロホン用ビニルコード」に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの |
| | |
| | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2022-3-13 |
| | 図面名称 | 特記仕様書4 | 整理番号 |
| | 縮尺 | ― | |

図面番号　005

| 種目 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ○予備配管 | 分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合（25）を2本天井内まで立上げる。<br>ケーブラックの防火区画貫通部に、（51）を1本以上設ける。 |
| | ●フッシュプレート | ＊金属製（ステンレス、新金属も含む）　○樹脂製 |
| | ○フロアプレート・ベース | 水平高低調整式（空転防止付リング付、OAフロアー部分を除く）<br>＊砂金製　○アルミ製 |
| | ●寸法 | 敷その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 |
| | ●機器内配線等 | 下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。<br>ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。<br>●分電盤　○OA盤　○実験盤　○開閉器箱<br>○制御盤　○キュービクル式配電盤　○<br>○直流電源装置　○交流無停電電源装置（UPS）　○ |
| | ●再使用機材 | 取外した上再使用する鋼材は、清掃を行い、絶縁状態を確認後に取付ける。なお照明器具等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして十分に清掃を行うこと。 |
| | ●その他 | 屋外の盤類・開閉器箱・プルボックスの材質は<br>＊ステンレス　とする<br>○調板製とし、配管カップリングは溶接を行い、溶融亜鉛メッキ後指定塗装を行う。 |
| 電灯設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 |
| | ●電気方式 | 幹線　○単相3線式100／200V60Hz　○直流2線式100V　○<br>分岐　●単相2線式　○100V　○200V　○直流2線式100V　○ |
| | ○照明制御装置 7 | 照明制御装置のるセンサー設定は、監督職員の指示による。<br>センサー設定器を附属させる。 |
| | ○多重伝送制御システム | 多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。<br>システム設定器を附属させる。 |
| | ○蛍光灯安定器の種類 | 蛍光灯照明器具の安定器の種類は、標準品及びJIL5004-2006「公共施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。<br>蛍光灯の種類 / 安定器の種類 / 電圧（V）<br>直管形 Hf16形，Hf32形，Hf86形 / PX / 0100 0200<br>コンパクト形 7 Hf形 H16形，H24形，H32形，H42形，P32形，P45形 / PN / 0100 0200<br>一般形 D13形，D18形，D27形 / EL / 100<br>高輝度誘導灯 / EL / 100<br>Hf形器具はユニバーサル電圧（100～242V等）対応品でもよい。 |
| | ○RP又はMP形蛍明器具の防水試験 | 行う |
| | ○RP又はMP形蛍明器具 | 標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。 |
| | ○フロアコンセント | ○引出し形　○飛び出し形　○内部固定形　○外部固定形　○図示　○OAフロアー用 |
| | ●分電盤等 | 本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JIS C 8370「配線用遮断器」、同付属書5「電灯分電盤用協約形配線用遮断器」による。<br>特記なき場合、分岐に用いる2極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、1極サイズのものとする。 |
| 動力設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○電気方式 | 幹線　○三相3線式　200V　60Hz　○<br>分岐　○三相3線式　200V　60Hz　○ |
| | ○制御盤 | 単位ユニットの電流計は負荷端子の手前に接続する。<br>制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 |
| | ○インターロック | 自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して空調機を停止させる。 |
| | ○インバータ装置の規約効率 | 三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。<br>電動機出力（kW）：0.4　0.75　1.5　2.2　3.7　5.5　7.5　11　15　18.5　22　30　37　45<br>インバータ効率（%）：85.0　87.0　88.5　89.5　90.0　90.5　91.0　91.5　92.0　92.5　93.0　93.5　94.0　94.5<br>備考）（1）電動機の供給電圧は200V又は400Vとする。<br>（2）インバータ効率は、100%負荷時の値とする。 |
| 電熱設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| 雷保護設備 | ○工事範囲 | ○外部雷保護システム（○受雷部システム　○引下げ導線システム　○接地システム）<br>○内部雷保護システム |
| | ○保護レベル | ○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ |
| | ○受雷部システム | 突針支持管　＊鋼製　○ステンレス製 |
| | ○接地システム | ○A型接地極<br>○板状接地極　○垂直接地極　○放射接地極<br>○B型接地極<br>○環状接地極　○網状接地極 |
| 受変電設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○電気方式 | 高圧　三相3線式　6kV　60Hz<br>低圧　○三相3線式　200V　○単相3線式　100V／200V<br>○三相3線式　V　○三相4線式　V／　V |
| | ○配電盤形式 | ○屋内キュービクル式配電盤<br>○屋外キュービクル式配電盤<br>○高圧スイッチギア（　）　○変圧器盤　○コンデンサ盤<br>○低圧スイッチギア　○系統連系保護制御盤 |
| | ○変圧器の規格 | 変圧器の規格は次による。<br>ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するものは除く。<br>●油入変圧器：単相 ＊JIS C 4304-2005 7 ○JEM；三相 ＊JIS C 4304-2005 7 ○JEM<br>モールド変圧器（絶縁種別　F）：単相 ＊JIS C 4306-2005 7 ○JEM；三相 ＊JIS C 4306-2005 7 ○JEM |
| | ○絶縁監視装置 | 高圧回路の絶縁監視<br>○活線tanδ測定方式　○直流漏洩電流検出方式<br>○零相電流・電圧測定方式　○部分放電検出方式<br>○部分放電検出方式　○<br>低圧回路の絶縁監視<br>○表示部：○有（詳細別記）　＊無<br>○注意電流整定値：○5mA　○10mA　○15mA　○20mA　○25mA　○<br>○通信機能：＊有　RS-485　○有　RS-232C　○無<br>○データ出力：＊有（詳細別記）　○無 |
| | ○基礎 | ○本工事　＊別途工事　○既設 |
| | ○サーモスタット | 盤内にサーモスタット（30℃～40℃可変形とし、35℃にセット）及び切替スイッチ（自動・手動・断）を設ける。<br>外部換気扇がある場合は、外部換気扇連動（＊端子、○スイッチ）を設け、サーモスタットと連動する。 |
| | ○付属品等 | 盤内に予備限流ヒューズを収納する。 |
| | ○その他 | ○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。<br>○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。<br>○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅600mm以上・高さ1,800mm以上）<br>○充電標示器は、断路器の1次側の適切な場所に設ける。 |
| 静止形電源設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○直流電源装置 | 用途：○防災電源　○受変電設備専用<br>その他：○過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。 |
| | ○交流無停電電源装置（UPS） | 用途：（　）<br>方式：○常時インバーター給電方式（○一般形　○簡易形）<br>○ラインインタラクティブ方式　○常時商用給電方式 |
| 発電設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○ディーゼル発電装置 | 用途：○防災電源　○常用（＊系統連系型　○独立型）<br>運転時間：連続運転可能時間　＊10時間以上　○168時間以上　○常時連続<br>定格：三相3線式　60Hz　＊210V　○6.6kV　○<br>定格出力：80kW（100kVA）以上　原動機　132kW以上<br>排気ガス処理装置等：○排気ガス処理装置　○有　＊無<br>○低減装置　○有　＊無 |
| | ○太陽光発電装置 7 | 太陽電池：アレイ　公称最大出力　10kW以上<br>設置可能建築面積　m²以下（長辺　m×短辺　m）<br>系統連系：○受動　○能動<br>パワーコンディショナ出力：1相　3線式200／100V10kW以上<br>逆潮流：○有　＊無 |
| | ○外部移報 | ＊有　○無 |

| 種目 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 構内情報通信設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 |
| | ●施工方法 | 幹線　○光ファイバケーブル（EM-OPT）（OSM　OMM）　○EM-UTPケーブル<br>支線　○光ファイバケーブル（EM-OPT）（OSM　OMM）　●EM-UTPケーブル |
| 構内交換設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○ハイテンションアウトレット | ○外部固定形　○内部固定形　○図転形または上下動形　○ |
| | ○ローテンションアウトレット | ○一般形　個　○OAフロアー用　個（通線カバー） |
| | ○保安器用接地 | ＊本工事　○別途工事 |
| | ○形式 | ○ボタン電話装置　○交換装置 |
| | ○蓄電池容量保持時間 | ○5分以上　○30分以上　○製造者標準 |
| | ○電話機への配線 | 電話機1台につき1本以下を見込む。<br>○EM-TIEF　0.65-2C　20m（片端6極2心モジュラーローゼット付）<br>○EM-電子ボタン電話用ケーブル　0.4　-2P　20m（片端6極4心モジュラーローゼット付）<br>○EM-UTP　0.5　-4P　20m（片端8極8心モジュラーローゼット付）<br>○2号ワイヤロテクタ　1.5m |
| 情報表示設備 | ○工事種類 | ○マルチサイン装置　○出退表示設備　○時刻表示設備 |
| | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○子時計 | 特記なき子時計は、SWG-QPB　とする。 |
| 映像音響設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| 拡声設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○増幅器 | 用途：○全館放送用（＊一般放送　○非常放送）　○ローカル放送用<br>形式：○卓上形　○ラック組込形　○卓上形　○ラック組込形<br>定格出力：HI形　＊以上　HI形　＊以上<br>出力制御器：＊有　○回線　○無　＊有　○回線　○無<br>付加機能：○リモコン機能　○コールサイン機能　○リモコン機能　○コールサイン機能<br>○モニター機能　○モニター機能<br>○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする |
| | ○マイクロホン | ○卓上形　台　○ハンド形　台 |
| | ○CDプレーヤ/DVD | ○卓上形　○ラック組込　○ラックスペースのみ |
| | ○レコーダ | ○卓上形　○ラック組込　○ラックスペースのみ<br>媒体　○カセット式　○磁気ディスク |
| 誘導支援設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○工事内容 | ○音声誘導装置（○磁気式　○無線式　○画像認識）<br>○インターホン：○電話式　○相互式<br>○テレビインターホン：○カラー<br>○外部受付用インターホン：○カラー<br>●トイレ等呼出し装置：5室　呼出しボタン<br>●壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m以上とする）<br>○壁付握りボタン（握りボタンのひもの長さは1.2m以上とする）<br>○受付呼出し装置　○誘導鈴 |
| テレビ共聴設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○電界強度測定 | 測定チャンネルは監督職員と協議する。 |
| 監視カメラ設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○画像 | ○カラー　○白黒 |
| 駐車場管制設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| 防犯入退室設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○工事種類 | ○機械警備用配管<br>○防犯設備　○入退室管理制御装置 |
| 自動火災報知設備 | ●工事種類 | ●自動火災報知装置　○自動閉鎖装置　○非常警報装置　○ガス漏れ火災警報装置 |
| | ●工事範囲 | ●配管　○配線　●機器取付 |
| | ●自動火災報知装置 | ○受信機　P形　1級　回線（○壁掛形　○自立形）（○単独形　○複合形）○既設<br>○副受信機　密<br>○機器収容箱（○消火栓一体形　○単独形） |
| | ○消火ポンプの始動 | ＊消火栓箱内押ボタン　○発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。） |
| | ○連動制御器 | 回線（予備電源（蓄電池）内蔵）　○既設<br>○単独　○火報受信機等と一体　○ダンパ等（全数）復帰用の予備電源容量をもつこと。 |
| | ○自動閉鎖装置 | ○防火戸用（DC24V　0.6A以下　電磁式またはラッチ式）<br>○防煙ダンパ用（別途工事　瞬時通電式または電動式DC24V　0.6A以下、<br>遅方復帰機構（電動式）DC24V　0.7A以下）<br>○防火シャッター・防煙スクリーン用（別途工事　DC24V　0.6A以下　警報連動付） |
| | ○ガス漏れ火災警報装置 | 受信機　形　級　回線（＊壁掛形　○自立形）<br>（○単独形　○火報受信機と一体）（ガスの種類　＊都市ガス（13A）　○液化石油ガス） |
| | ○語警報表示 | 受信機に語警報表示窓（20窓）を設ける。 |
| 中央監視設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○監視方式 | ○警報盤　○簡易形監視制御装置　○監視制御装置 |
| | ○蓄電池容量 | ＊標準仕様書による　○30分間以上 |
| 構内配電線路 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○電気方式 | ○三相3線式　06kV　○200V<br>○単相3線式　100／200V　○単相2線式　○100V　○200V |
| | ○埋設深さ | 特記なき場合は、GL（舗装がある場合は、舗装下面）-300mm以下とする。 |
| | ○電柱 | 電柱は遠心力プレストレストコンクリートポールとする。 |
| | ○区分開閉器 | 高圧負荷開閉器7.2kV　A<br>用途　○架空引込用　○地中引込用<br>構造　○耐中塩じん用　○耐重塩じん用（耐塩じんの汚損特性　0.35mg／cm 2）<br>形式　○引外し装置付（SOG形）　○引外し装置なし　○避雷器内蔵　○制御電源用変圧器内蔵 |
| | ○マンホール及びハンドホール | 構造、寸法は　（＊標準図　○図示）による。<br>蓋の用途表示は（＊電力　○　）とする。<br>ケーブルが直接接触しない場合の金物は接地を省略してもよい。<br>ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 |
| | ○余長 | 高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホールまたはキュービクル内等の1ケ所で約3mの余長をとる。 |
| | ○がいし、高圧ケーブル端末処理 | ○一般用　○耐塩用　○重耐塩用 |
| | ○避雷器 | ○屋外形　○耐塩形 |
| | ○鉄柱材 | ○一般用　○耐塩形 |
| | ○外灯 | 基礎　＊本工事　○別途工事<br>＊外灯ポールの材質が調製（SPC）の場合は溶融亜鉛めっきとし、指定色塗装とする。○図示による<br>○太陽電池パネル、風力発電装置搭載形 |
| | ○雑箱ソート | 高圧管路及び、外灯回路以外の低圧管路に設ける。 |
| 構内通信線路 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | ○埋設深さ | 特記なき場合は、GL（舗装がある場合は、舗装下面）-300mm以下とする。 |
| | ○電柱 | 電柱は遠心力プレストレストコンクリートポールとする。 |
| | ○マンホール及びハンドホール | 構造、寸法は　（＊標準図　○図示）による。<br>蓋の用途表示は（＊通信　○　）とする。 |
| | ○雑箱ソート | 引き込み管路に設ける。 |

●機器材料メーカー　一覧表

| 品名 | 指定製造、製作会社（順不同及び（株）を省略）同等品以上 | 品名 | 指定製造、製作会社（順不同及び（株）を省略）同等品以上 | 品名 | 指定製造、製作会社（順不同及び（株）を省略）同等品以上 |
|---|---|---|---|---|---|
| 金属管 | 住友調管，パナソニック，日欧調管，丸一調管 | 高圧、低圧盤<br>動力制御盤<br>電灯分電盤<br>端子盤 | 図楠電機、内外電機、日進電機 | トイレ呼出 | アイホン |
| 同上附属品 | 同上4社およびニチア，因幡工業，ネグロス電工 | | | 情報HUB | アライドテレシス |
| 合成樹脂管（VE,VP）同上附属品 | 三菱樹脂，クボタシーアイ，積水化学工業，未来工業，日動電工 | | | | |
| 合成樹脂管（PF,CD）同上付属品 | 古河電気工業，パナソニック，未来工業，住友調管，東拓工業，カナフレックス，日動電工 | 高圧開閉器（AS，GS） | 三菱電機，日立製作所，富士電機機器制御，日本高圧電気，戸上電機製作所，エナジーサポート | 金属線ぴ<br>同上付属品 | パナソニック，ネグロス電工，外山電気 |
| 波付硬質管（FEP）同上付属品 | 古河電気工業，東拓工業，カナフレックス，クボタシーアイ，タイガースポリマー，積水化学工業，ダイカポリマー | 高圧機器 | 三菱電機，富士電機機器制御，日立製作所，東芝，明電舎， | 合成樹脂ぴ<br>同上付属品 | パナソニック，未来工業，日動電工 |
| 電線（IE）<br>ケーブル（CE，CET） | 住電日立ケーブル，古河電気工業，フジクラ・ダイヤケーブル，昭和電線電纜 | 高圧、低圧<br>変圧器 | 三菱電機，富士電機システムズ，日立製作所，東芝，明電舎，ダイヘン | プルボックス（蓋止め除く。） | ニチア，因幡工業，八洲電工 |
| | | コンデンサ<br>リアクトル | 三菱電機，日立製作所，東芝，明電舎，ニチコン，指月電機製作所 | ハンドホール | ケイコン，アートコンクリート工業，立基建材工業，インテック |
| ケーブル（EEF，EER） | 電線ケーブルメーカー4社及びカワイ電線，住友電工産業電線，弥栄電線，日本電線工業 | 配線用遮断器 | 三菱電機，日立製作所，東芝，富士電機機器制御，松下電工，寺崎電気産業 | ハンドホール蓋 | 協西鋳物，北勝工業，カネソウ，長谷川鉄工所 |
| 耐火電線<br>（FP）<br>弱電ケーブル | 電線ケーブルメーカー4社及び車陸電線，沖電線，カナレ電気，富士電線，日本電線工業 | 放送機器 | パナソニック，ユニペックス，TOA | 防犯機器 | 竹中エンジニアリング，パナソニック |
| 同軸ケーブル | 住電日立ケーブル，古河電気工業 | インターホン | パナソニック，アイホン | 分電盤錠 | パナソニック |
| 照明器具類 | パナソニック，東芝ライテック，三菱電機 | 電気時計 | パナソニック，TICシチズン，セイコータイムシステム， | | |
| | | テレビ機器<br>CATV | 八木アンテナ，DXアンテナ，ホーチキ | | |
| 配線器具類 | パナソニック，東芝ライテック，神保電器，寺田電機製作所 | 防災機器 | 能美防災，パナソニック，ホーチキ，ニッタン | | |

凡例

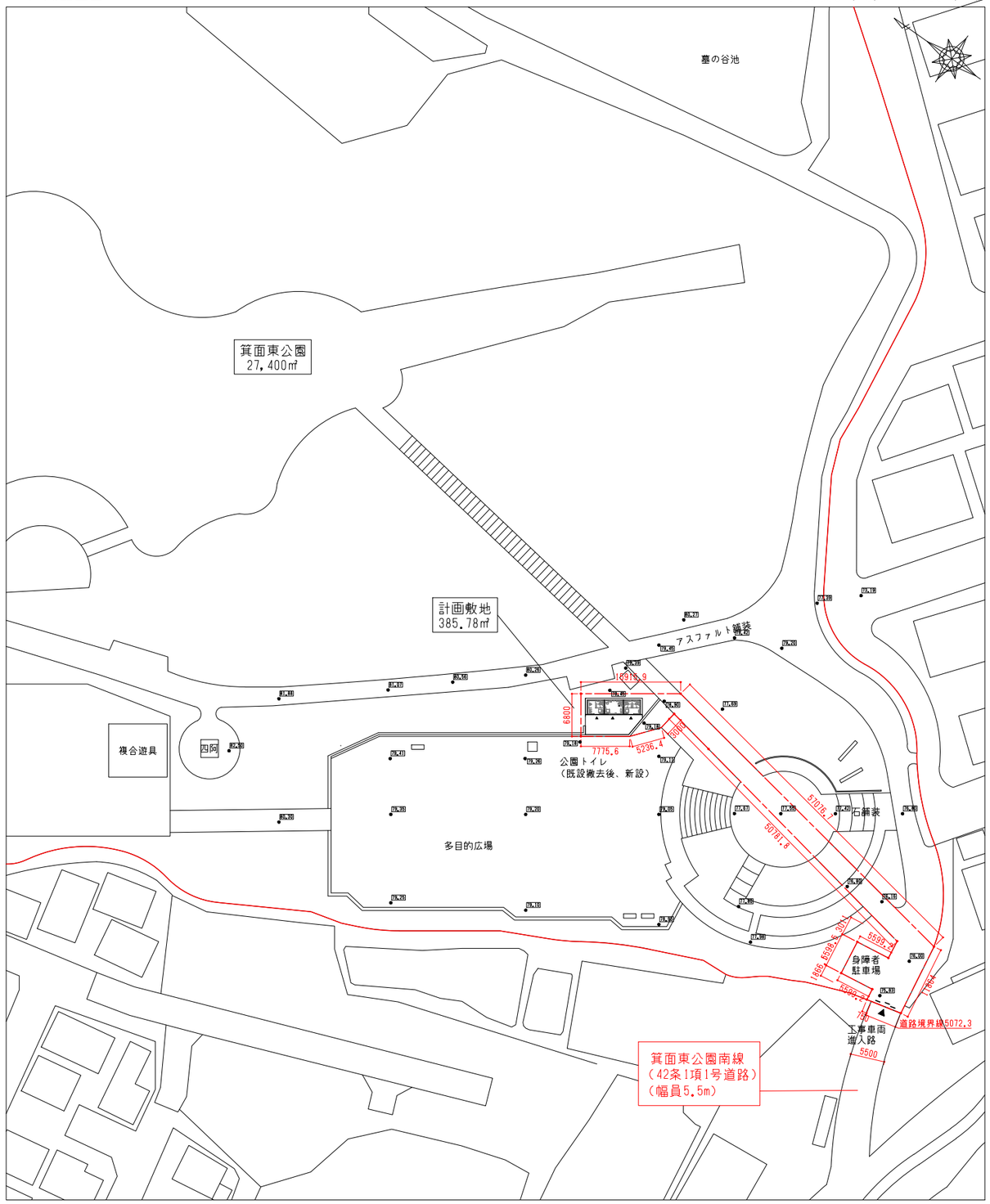
| 記号 | 名称 | 備考 | 記号 | 名称 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 動力盤、開閉器盤 | 単線結線図参照 | | 端子盤 | 端子盤表参照 |
| | 電灯分電盤 | 〃 | | 電話モジュラジャック　壁付 | |
| | 電灯動力盤 | 〃 | | 〃　床付 | |
| | 警報盤 | 〃 | | 〃　OA床付 | |
| | 設備盤 | 機械設備工事 | | 情報モジュラジャック　壁付 | |
| S | 手元開閉器 | 併記による。 | | 〃　床付 | |
| | | | | 〃　OA床付 | |
| | 照明器具　天井付 | 照明器具姿図参照 | HUB | スイッチングハブ | |
| | 〃　〃 | 〃 | | | |
| | 〃　〃 | 〃 | AMP | 放送アンプラック | 弱電機器図参照 |
| | 〃　壁付 | 〃 | | 壁埋型スピーカ　3W | 〃 |
| | 〃　〃 | 〃 | | 〃　3W　ATT付 | 〃 |
| | 〃　非常灯 | 〃 | | 天井埋込型スピーカ　3W | 〃 |
| | 〃　〃 | 〃 | | 〃　3W　ATT付 | 〃 |
| | 〃　ポール灯 | 〃 | | ホーンスピーカ | 〃 |
| | 〃　誘導灯 | 〃 | | 音量調整器 | 〃 |
| | | 〃 | | 電源カットリレー | 〃 |
| | | | | FDキン　規格　モニターテレビ付 | 弱電機器図参照 |
| | 埋込スイッチ　15A　片切 | プレート共 | | FDキン　子機　カメラ付 | 〃 |
| 3 | 〃　〃　3路 | 〃 | | 角カバープレート付 | |
| 4 | 〃　〃　4路 | 〃 | P | 丸カバープレート付 | |
| L | 〃　〃　片切パイロットランプ付 | 〃 | WP | 防水カバープレート付 | |
| 1R | フル2線式リモコンスイッチ（光アドレス式）1回路用 | 〃 | | テレビ機器収納盤 | 単線結線図参照 |
| 2R | フル2線式リモコンスイッチ（光アドレス式）2回路用 | 〃 | | テレビ直列ユニット | CS-7F-7 |
| 3R | フル2線式リモコンスイッチ（光アドレス式）3回路用 | 〃 | R | 〃 | CS-7F-R |
| 4R | フル2線式リモコンスイッチ（光アドレス式）4回路用 | 〃 | | トイレ呼出表示盤 | 弱電機器図参照 |
| G4R | フル2線式リモコンスイッチ（グループ・パターン用） | 〃 | N | トイレ呼出ボタン | 〃 |
| RM | フル2線式リモコンスイッチ | 回路数は併記による。 | | 廊下灯 | 〃 |
| RM | フル2線式リモコン調光スイッチ | プレート共 | | 復旧ボタン | 〃 |
| | 埋込コンセント　2P15A | 1ヶ口以上の口数は併記による。 | | 遅方押ボタンスイッチ　AC200V（NO，OFF，RL） | 埋込BL6002K同等品 |
| EET | 〃　〃　アース板、端子付 | 〃 | | 全熱交換機 | 機械設備工事 |
| ET | 〃　〃　アース端子付 | 〃 | | 同上用スイッチ | 〃 |
| E | 〃　〃　アース板付 | 〃 | | 壁付換気扇 | 〃 |
| TK | 埋込接止コンセント　〃 | 〃 | | 天井ダクト扇 | 〃 |
| ET | 埋込コンセント　〃　アース端子付 | 250V | | 中間ダクト扇 | 〃 |
| 15A | 〃　3P15A　アース板付 | 250V | | エアコンコントローラスイッチ | 〃 |
| 20A | 〃　3P20A　アース板付 | 250V | | エアコン集中コントローラスイッチ | 〃 |
| ETWP | 防水コンセント　2P15AE付　アース端子付 | | AD | 自動FDア一用電源 | |
| E | フロアコンセント　2P15A　アース板付 | 1ヶ口以上の口数は併記による。 | | アウトレットボックス | |
| | OAフロアコンセント　2P15A　アース板付 | | WP | 〃 | 防雨入線プレート付 |
| J | OAフロア内ジョイントボックス | | | プルボックス | WPは防水型（SUS） |
| AS | 自動点滅器　AC200V　6A | JISプラダイン型 | | ハンドホール | 併記参照 |
| | | | | 配管エンド伏せ | |
| | 熱線センサ付自動スイッチ　天井埋込型 | 松下　WTK2311　同等品 | | 天井内突き出し配管 | |
| F | 熱線センサ付自動スイッチ　天井埋込型（換気連動） | 松下　WTK2314　〃 | | 天井いんぺい配管配線 | |
| M | 熱線センサ付自動スイッチ　天井埋込型親機 | 松下　WTK2481K　〃 | | 床下配管配線 | |
| S | 熱線センサ付自動スイッチ　天井埋込型子機 | 松下　WTK2912　〃 | | 露出配管配線 | 指定色塗装 |
| SF | 熱線センサ付自動スイッチ　天井埋込型子機（換気連動） | 松下　WTK2931K　〃 | | 地中埋設配管配線 | |
| SL | 自動スイッチ操作ユニット　自動・連続・切 | 松下　WTC5820W　P付　〃 | | | |
| SLF | 自動スイッチ操作ユニット　自動・連続・切 | 松下　WTC5820TWP付　〃 | | 立下り・先通し・立上り | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 |
| | 図面名称 | 特記仕様書5 | 整理番号 |
| | 縮尺 | ― | |

図面番号 006

## 広域配置図

S=1/800（A3）・1/400（A1）




## 工事概要

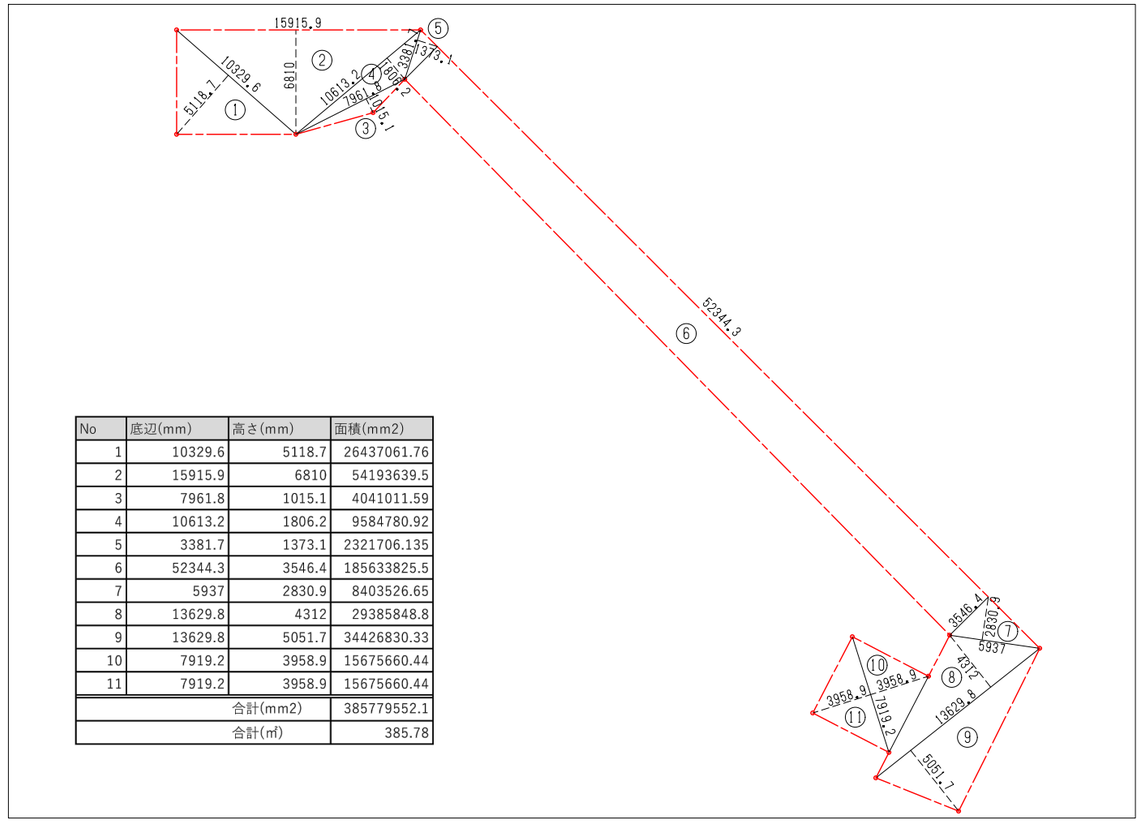
| | |
|---|---|
| 工事名称 | 公園トイレ更新工事（箕面東公園） |
| 敷地地番 | 箕面市粟生新家2丁目499　箕面東公園内 |
| 用途地域 | 第二種中高層住居専用地域・市街化区域 |
| 地区計画等 | 第三種高度地区・居住環境保全地区 |
| 工事種別 | 既存トイレ解体撤去後、新築工事 |
| 敷地面積 | 385.78㎡ |
| 構造 | プレキャストRC造 |
| 最高高さ | 2.600m |
| 最高軒高 | 2.270m |
| 建築面積 | 18.510㎡ |
| 延床面積 | 18.510㎡ |
| 建ぺい率 | 200%　（本計画建ぺい率：5.72%） |
| 容積率 | 60%　（本計画容積率：5.72%） |
| 接道道路 | 接道幅員5.5m　／　接道距離5.072m |
| 日影規制 | 用途より、該当（高さ10mを超える建築に規制） |
| 斜線制限 | 用途より、道路斜線・隣地斜線・北側斜線に該当 |

## 付近見取図

S=1/10000（A3）・1/5000（A1）

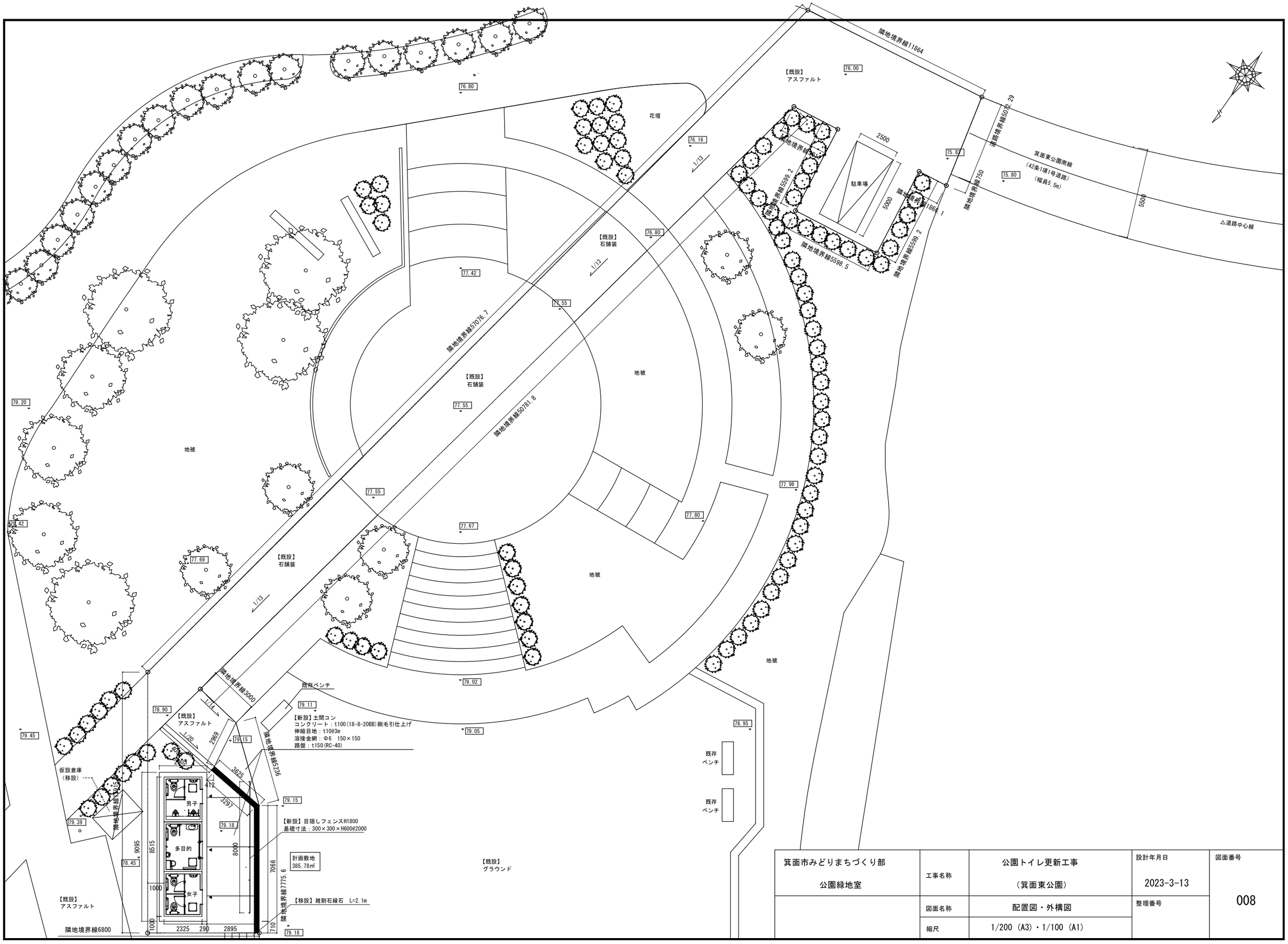
## 敷地面積求積図

S=1/400（A3）・1/200（A1）




| No | 底辺(mm) | 高さ(mm) | 面積(mm2) |
|---|---|---|---|
| 1 | 10329.6 | 5118.7 | 26437061.76 |
| 2 | 15915.9 | 6810 | 54193639.5 |
| 3 | 7961.8 | 1015.1 | 4041011.59 |
| 4 | 10613.2 | 1806.2 | 9584780.92 |
| 5 | 3381.7 | 1373.1 | 2321706.135 |
| 6 | 52344.3 | 3546.4 | 185633825.5 |
| 7 | 5937 | 2830.9 | 8403526.65 |
| 8 | 13629.8 | 4312 | 29385848.8 |
| 9 | 13629.8 | 5051.7 | 34426830.33 |
| 10 | 7919.2 | 3958.9 | 15675660.44 |
| 11 | 7919.2 | 3958.9 | 15675660.44 |
| 合計(mm2) | | | 385779552.1 |
| 合計(㎡) | | | 385.78 |

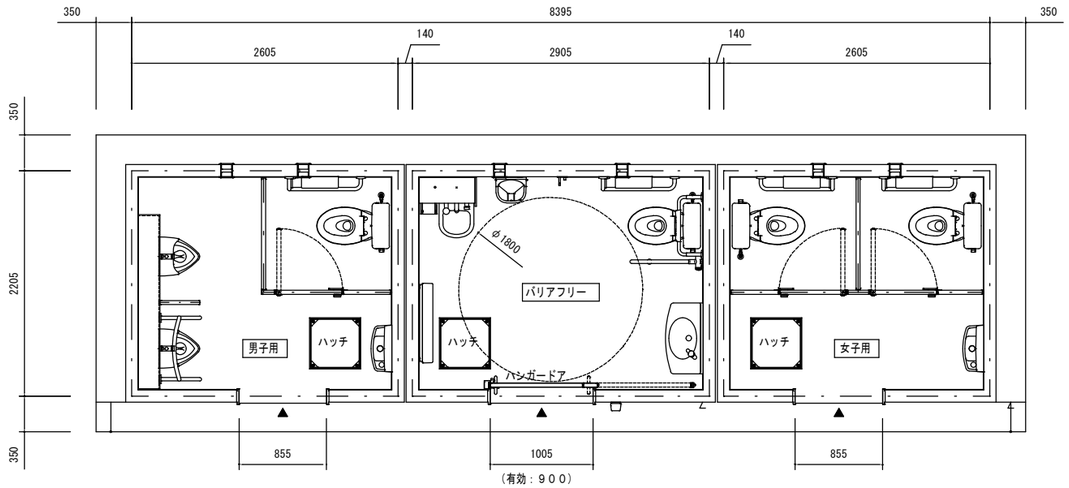
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>007 |
| ARCHITECTS TEEHOUSE<br>株式会社 ティーハウス建築設計事務所<br>一級建築士事務所 兵庫県知事登録　第01A03718号<br>一級建築士　第370376号　高田麻利佳 | 図面名称 | 付近見取図・概要書・面積求積図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | － | | |




| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>(箕面東公園) | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>008 |
| | 図面名称 | 配置図・外構図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | 1/200 (A3)・1/100 (A1) | | |

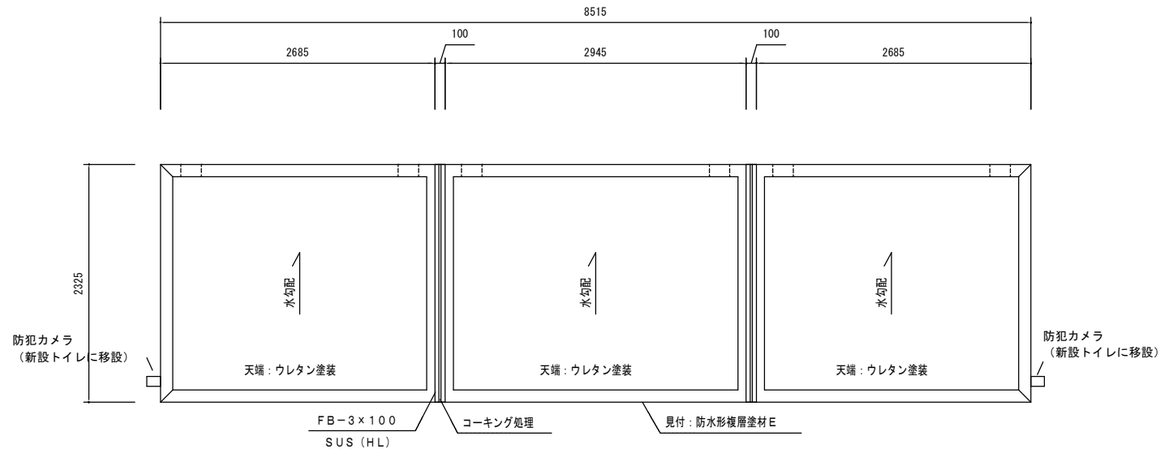
## 平面図

S=1/60（A3）



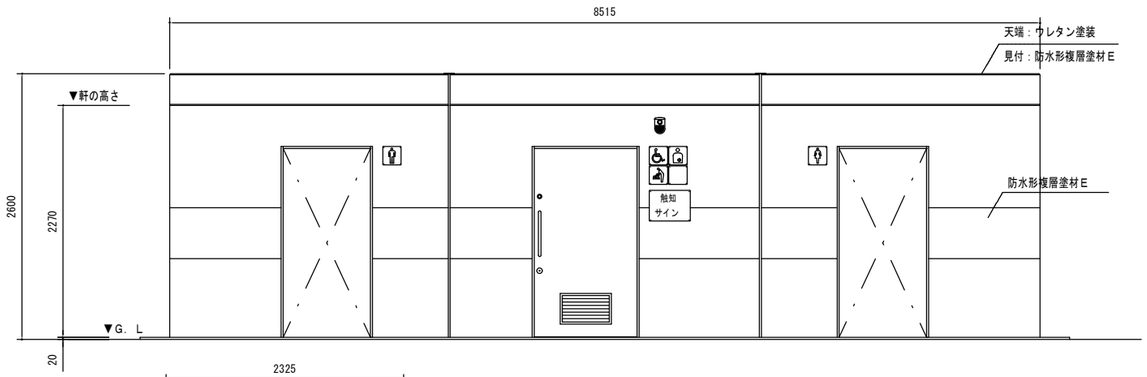

## 屋根伏図

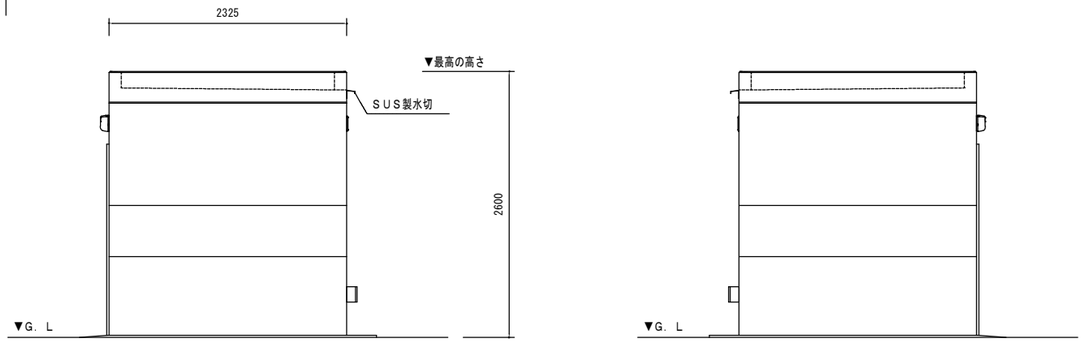
S=1/60（A3）

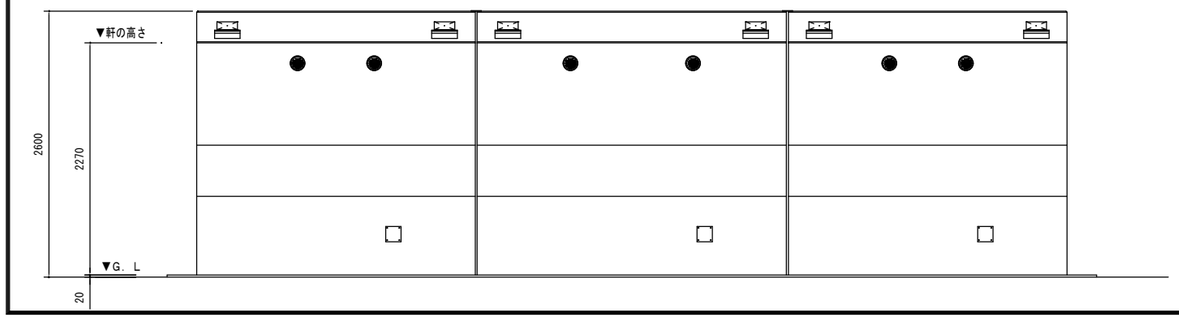



## 立面図

S=1/60（A3）



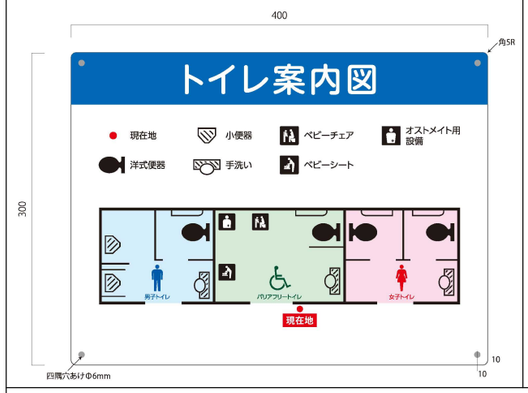




## 触地図詳細図

S=1/10（A3）

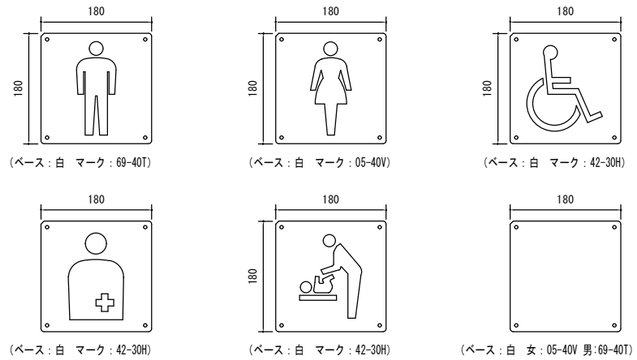
アルミ複合板t1.5　盗難防止ビス留め
アクリル樹脂塗装　電子硬化型樹脂塗装




## ピクトサイン詳細図

S=1/10（A3）

アルミ複合板t1.5　盗難防止ビス留め
アクリル樹脂塗装　電子硬化型樹脂塗装




## 仕上表

—

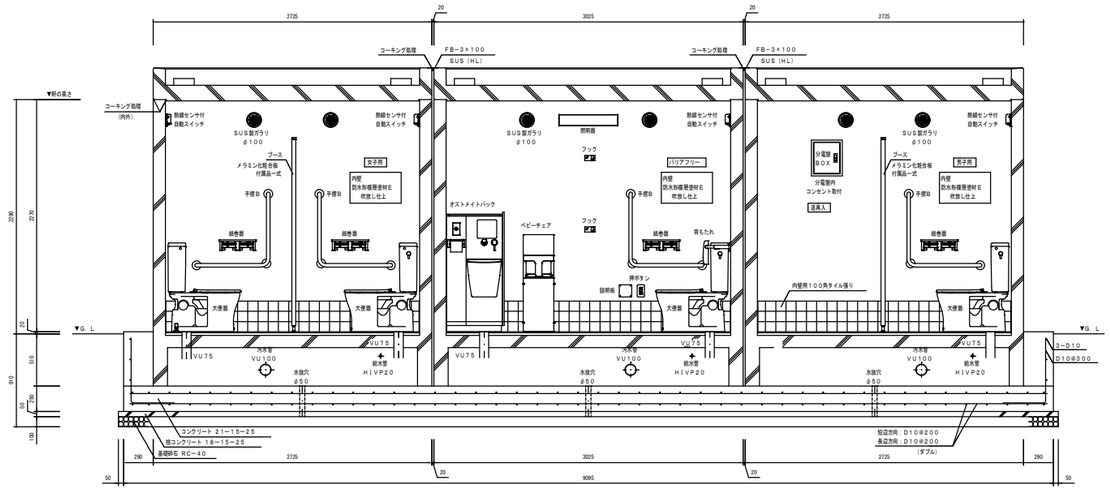
| | 名　称 | 使　用　材　料 | 色　彩　計　画（色・品番） |
|---|---|---|---|
| 外装 | 屋　根 | ＲＣ造　天端：ウレタン塗装 | グレー（Ｎ－５５） |
| | | 見付：防水形複層塗材Ｅ　吹放し仕上 | 弊社標準３０色より選択 |
| | | 天井：防水形複層塗材Ｅ　吹放し仕上 | アイボリー（ＳＲ－１６４） |
| | 換　気 | ＳＵＳ製ガラリ　φ１００ | シルバーメタリック |
| | 外　壁 | 防水形複層塗材Ｅ　吹放し仕上 | 弊社標準３０色より選択 |
| 内装 | 内　壁 | 上部：防水形複層塗材Ｅ　吹放し仕上（ＦＬ＋３００以上） | アイボリー（ＳＲ－１６４） |
| | | 下部：内壁用１００角タイル張り（ＦＬ＋３００迄） | ＩＭ－１００Ｐ１／ＮＹ２Ｈ（ＬＩＸＩＬ） |
| | 床 | 床用１００角タイル張り | ＡＬＳ－１００／３（ＬＩＸＩＬ） |
| 建具 | 男子用便室 | 入口三方枠：ＳＵＳ製（ＨＬ） | ―― |
| | | ブース：メラミン化粧合板　扉Ｗ＝６００ | アイボリー |
| | | スライドラッチ（表示・非常解錠付） | ―― |
| | | 道具入：メラミン化粧合板　扉Ｗ＝５００　管理錠付 | アイボリー |
| | バリアフリー | 入口三方枠：ＳＵＳ製（ＨＬ） | ―― |
| | | ハンガードア：溶融亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） | アイボリー（２５－８５Ｃ） |
| | | アルミ換気ガラリ・管理錠付 | ―― |
| | | 金物：ＳＵＳ製引手・非常開錠置付表示装置　大型サムターン付 | ―― |
| | 女子用便室 | 入口三方枠：ＳＵＳ製（ＨＬ） | ―― |
| | | ブース：メラミン化粧合板　扉Ｗ＝６００ | アイボリー |
| | | スライドラッチ（表示・非常解錠付） | ―― |

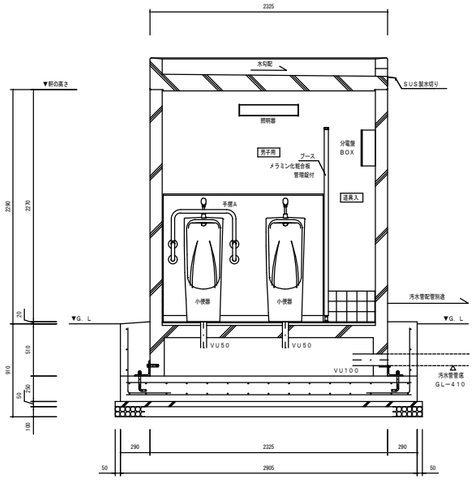
※トーヨーマテラン（株）ＴＢ－８５－２１－１１３７同等品以上とする。
※ハンガードアの管理錠Ｎｏ．８３４２Ｃ７ＢＶＢＰとする。
※一級建築士事務所登録メーカーの製品とする。
※建設業許可を有するメーカーの製品とする。
※ＪＰＦＡ（一社）日本公園施設業協会　公園施設団体賠償責任保険加入製品とする。
※国際規格　ＩＳＯ９００１：２０１５／ＩＳＯ１４００１：２０１５認証登録メーカーの製品とする。
※図中の設備表の品番につきましては、諸般の事情により予告なく改良、仕様の変更など行う場合がありますのであらかじめご了承ください。

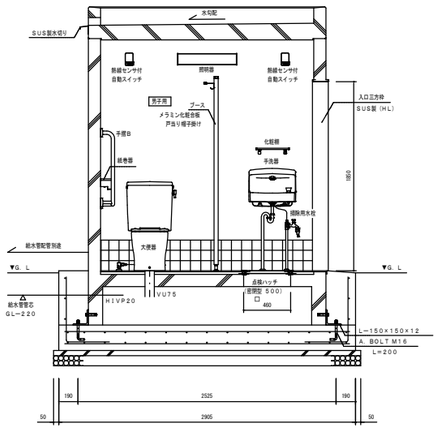
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>009 |
| | 図面名称 | 屋根伏図・平面図・立面図<br>触地図・ピクトサイン・仕上表 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | ― | | |

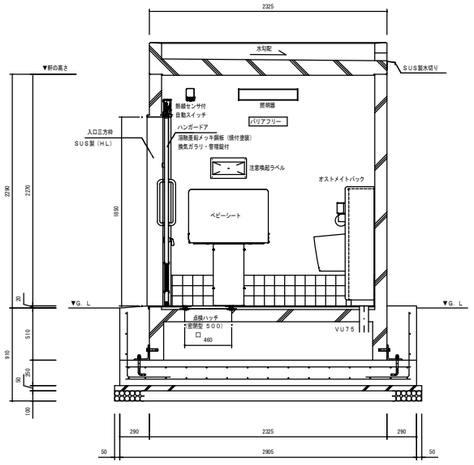
## 断面図

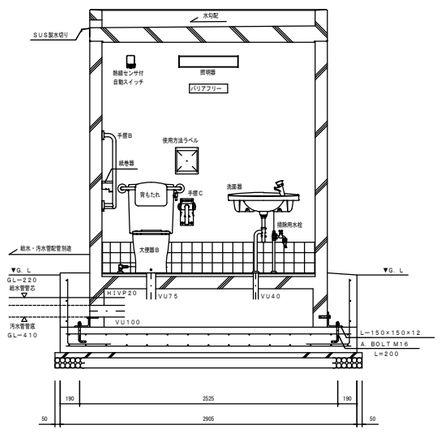
S=1/60 (A3)

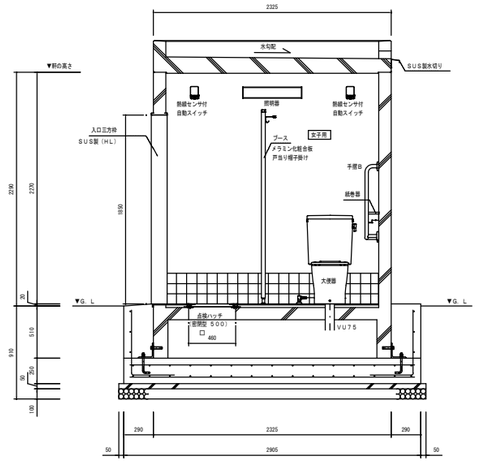


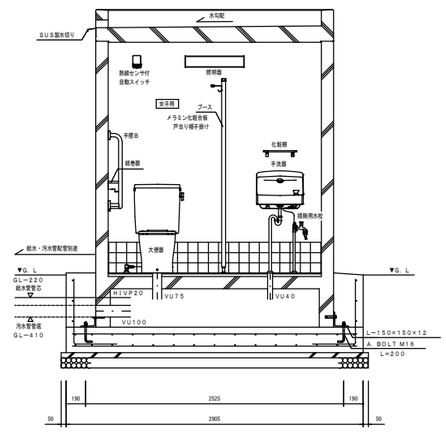




屋根
短辺：D13@150
長辺：D13@150
コンクリート打 150/130
天端：ウレタン塗装 グレー(N−55)
見付：防水形樹脂塗材E 吹放し仕上
天井：防水形樹脂塗材E 吹放し仕上

外壁
タテ筋：D10@200
ヨコ筋：D10@200
コーナー筋：D13
補強・開口部補強筋：D13
防水形樹脂塗材E 吹放し仕上
(2色分け)

床
短辺：D13@200
長辺：D13@200
コンクリート打 t=120
モルタル敷き
採用100タイル張り

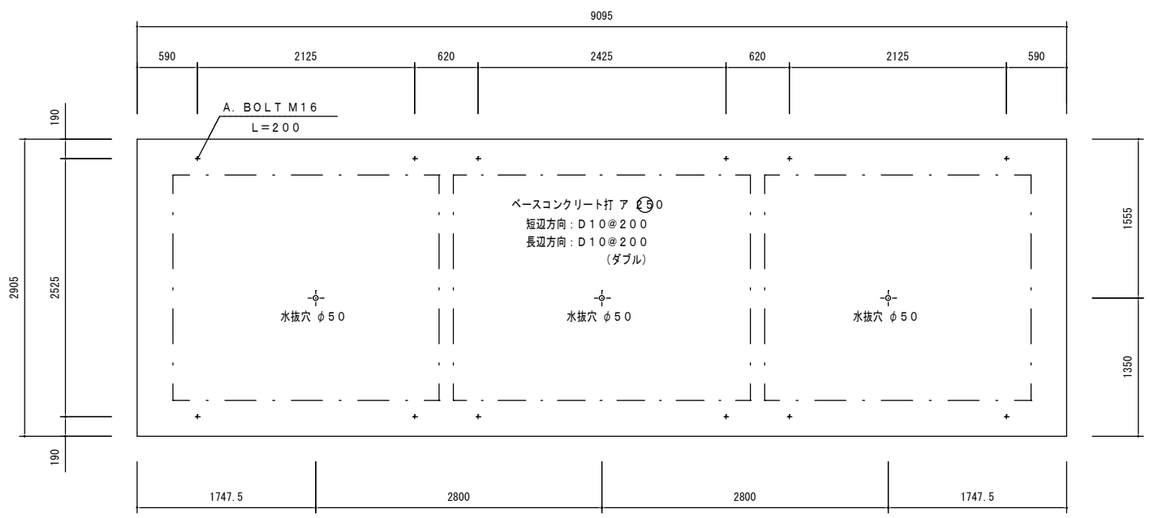
屋根
短辺：D13@150
長辺：D13@150
コンクリート打 150/130
天端：ウレタン塗装 グレー(N−55)
見付：防水形樹脂塗材E 吹放し仕上
天井：防水形樹脂塗材E 吹放し仕上

外壁
タテ筋：D10@200
ヨコ筋：D10@200
コーナー筋：D13
補強・開口部補強筋：D13
防水形樹脂塗材E 吹放し仕上
(2色分け)

床
短辺：D13@200
長辺：D13@200
コンクリート打 t=120
モルタル敷き
採用100タイル張り

## 基礎伏せ図

S=1/60 (A3)

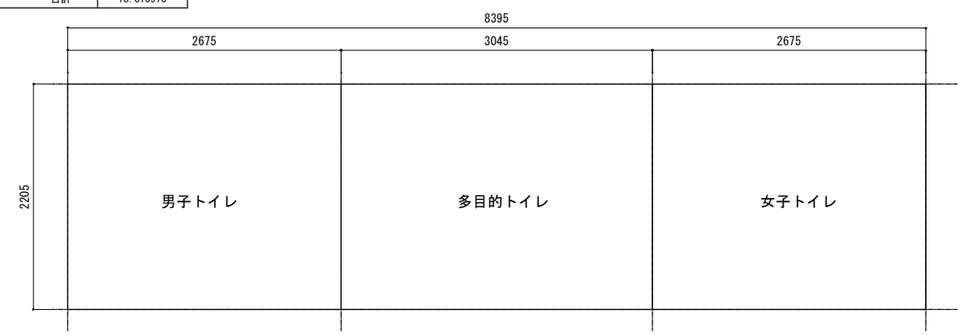



※平板載荷により、荷重短期45k/㎡、長期30k/㎡をかけた際に、自沈しないか確認すること。

## 床面積・建築面積　求積図

S=1/60 (A3)

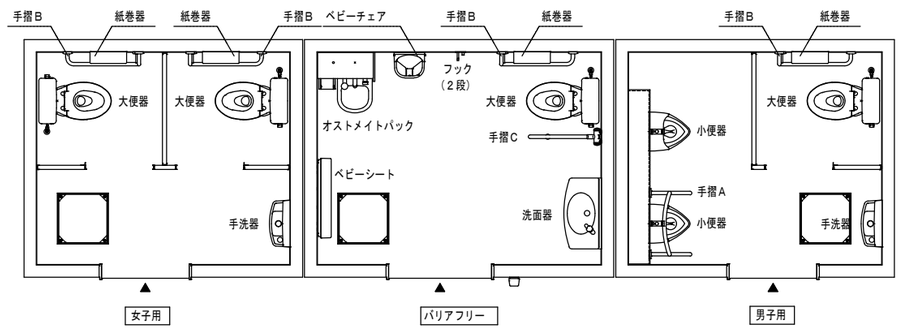
| | 辺1(m) | 辺2(m) | 面積(㎡) |
|---|---|---|---|
| 女子トイレ | 2.675 | 2.205 | 5.898375 |
| 多目的トイレ | 3.045 | 2.205 | 6.714225 |
| 男子トイレ | 2.675 | 2.205 | 5.898375 |
| | | 合計 | 18.510975 |




| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>(箕面東公園) | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>010 |
| | 図面名称 | 断面図・基礎伏図・求積図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | ー | | |

## 衛生設備図

S=1/60（A3）



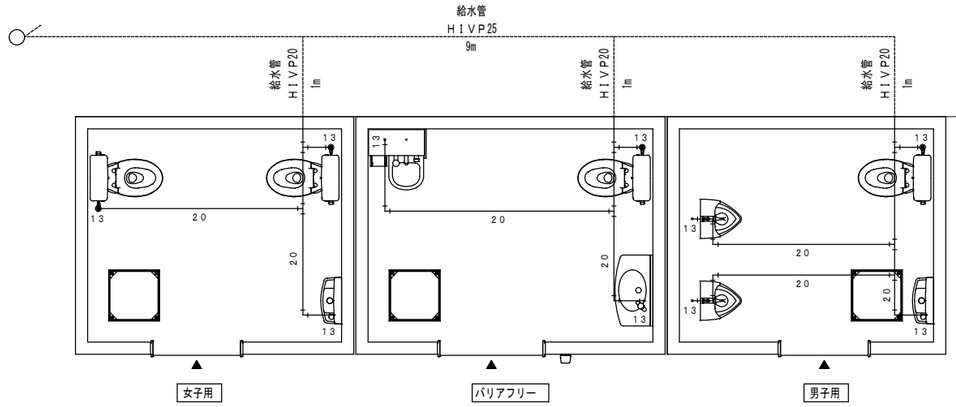

衛生設備表

| 名　称 | 品　番 | | 数量 | 消費電力 | 消費電力×台数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 大便器A | CS597BCS | TOTO | 3 | | |
| ロータンク | SH596BAYR | TOTO | 3 | | |
| | | | | | |
| 大便器B | CS597BCS | TOTO | 1 | | |
| ロータンク | SH596BAYR | TOTO | 1 | | |
| 背もたれ | EWC285CS | TOTO | 1 | | |
| | | | | | |
| 小便器 | UFH507CR | TOTO | 2 | | |
| フラッシュバルブ | TG600PN | TOTO | 2 | | |
| | | | | | |
| 手洗器 | LSK870BSR | TOTO | 2 | | |
| | | | | | |
| 洗面器 | L270D | TOTO | 1 | | |
| 自閉式単水栓 | TL19AR | TOTO | 1 | | |
| | | | | | |
| オストメイトパック | UAS81RDB1NW | TOTO | 1 | 630W | 630W |
| 側板 | UTR141 | TOTO | 1 | | |
| | | | | | |
| 排除用水栓 | T28AKUH13 | TOTO | 3 | | |
| | | | | | |
| 紙巻器 | YH701 | TOTO | 4 | | |
| 化粧棚 | YKH402R | TOTO | 2 | | |
| フック | YKH21WR | TOTO | 2 | | |
| | | | | | |
| ベビーチェア | YKA15S | TOTO | 1 | | |
| ベビーシート | YKA25S | TOTO | 1 | | |
| | | | | | |
| 手摺A | T112CU22（特） | TOTO | 1 | | |
| 手摺B | T112CL10 | TOTO | 4 | | |
| 手摺C | T112HK7R | TOTO | 1 | | |
| | | | 衛生器具消費電力合計 | 630W | |

※衛生器具のカラーはTOTO（#NW1：ホワイト）とする。
※大便器は排除口付とする。

## 給水系統図

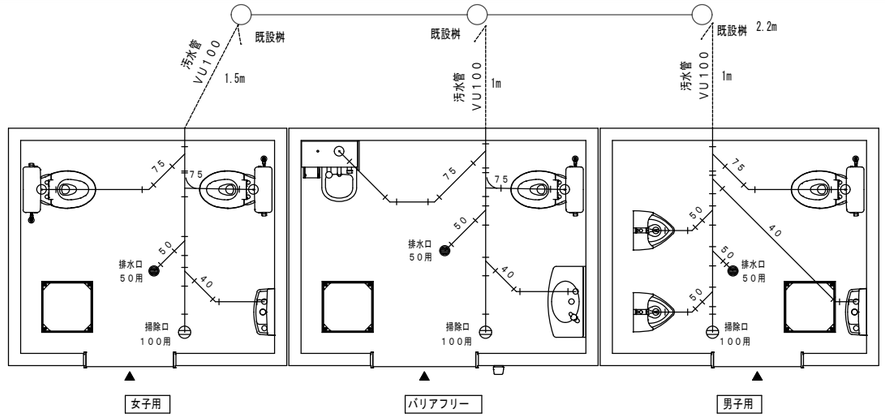
S=1/60（A3）




給水管管芯 GL－220
※床下給水管はポリエチレンフォーム保温筒巻きとする。

## 排水系統図

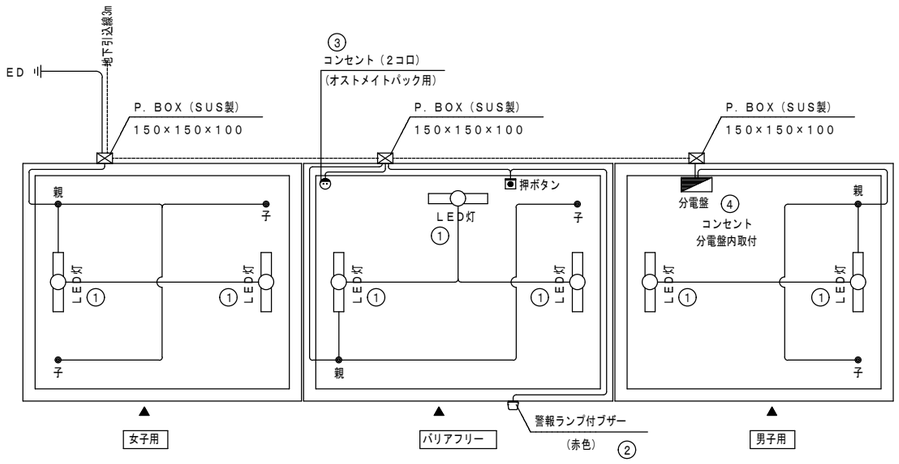
S=1/60（A3）

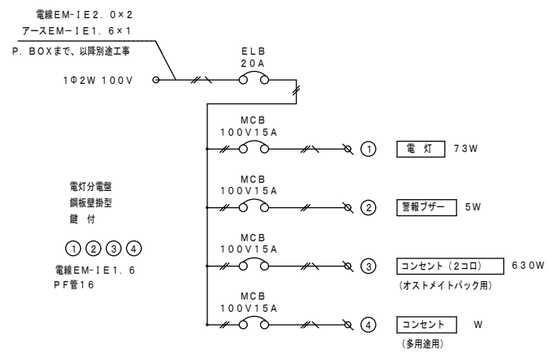



汚水管管底 GL－410

## 電気系統図

S=1/60（A3）




照明器作動形式

入室 → センサー作動時照明器点灯（動作保持時間10秒～30分）→
退室時、動作保持時間後消灯

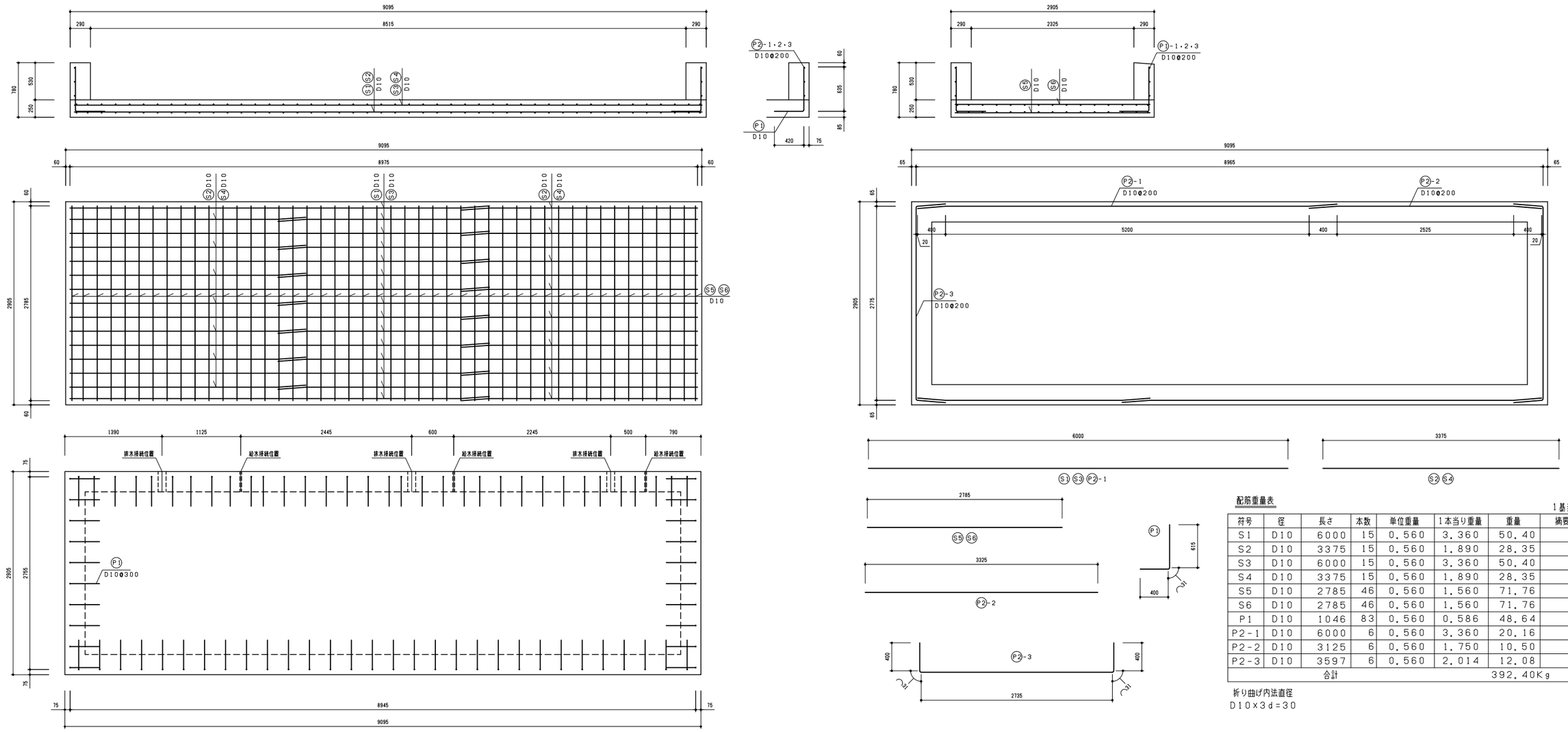
電気設備表

| 名　称 | 品　番 | 社　名 | 数量 | 消費電力 | 消費電力×台数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 分電盤ボックス | BX3530－14 | 河村電気産業 | 1 | | |
| 漏電ブレーカ | ZS 2P1E20－15 | 河村電気産業 | 1 | | |
| ノーヒューズブレーカ | SE 2P1E15S | 河村電気産業 | 4 | | |
| 警報ランプ付ブザー | EA5501 | パナソニック | 1 | 5W | 5W |
| 非常用押ボタン | WN4500 | パナソニック | 1 | | |
| SUS 防水カブセルボックス | 150×150×100 | 八洲電工 | 3 | | |
| 熱線センサ付自動スイッチ（親器） | WTK3431K | パナソニック | 3 | 1W | 3W |
| 熱線センサ付自動スイッチ（子器） | WTK3911 | パナソニック | 4 | | |
| LEDウォールライト | NNFW21800K | パナソニック | 7 | 10W | 70W |
| 接地ダブルコンセント | WN1512K（オストメイトパック用） | パナソニック | 1 | | |
| 露出コンセント（2P） | WN1012W（多用途用） | パナソニック | 1 | W | W |
| | | | | 電気器具消費電力合計 | 78W |
| | | | | 全消費電力合計 | 708W |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>011 |
| | 図面名称 | 給排水系統図・電気設備系統図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | ― | | |

## 基礎配筋図

S=1/60（A3）




### 配筋重量表

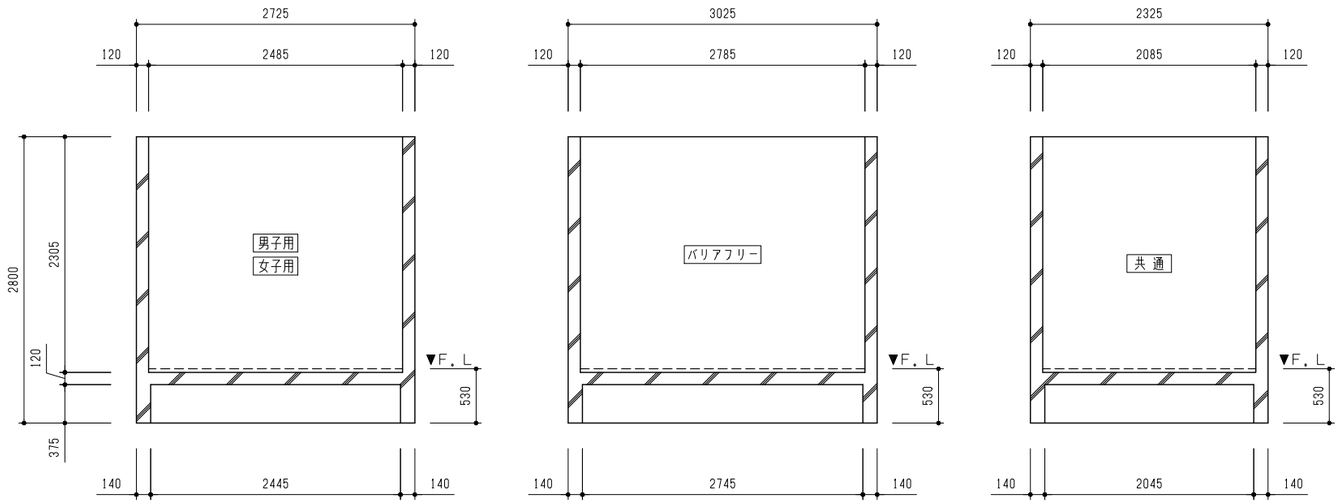
1基当り

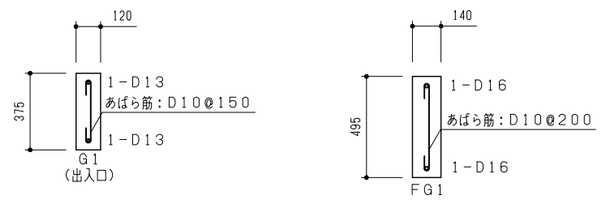
| 符号 | 径 | 長さ | 本数 | 単位重量 | 1本当り重量 | 重量 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S1 | D10 | 6000 | 15 | 0.560 | 3.360 | 50.40 | |
| S2 | D10 | 3375 | 15 | 0.560 | 1.890 | 28.35 | |
| S3 | D10 | 6000 | 15 | 0.560 | 3.360 | 50.40 | |
| S4 | D10 | 3375 | 15 | 0.560 | 1.890 | 28.35 | |
| S5 | D10 | 2785 | 46 | 0.560 | 1.560 | 71.76 | |
| S6 | D10 | 2785 | 46 | 0.560 | 1.560 | 71.76 | |
| P1 | D10 | 1046 | 83 | 0.560 | 0.586 | 48.64 | |
| P2-1 | D10 | 6000 | 6 | 0.560 | 3.360 | 20.16 | |
| P2-2 | D10 | 3125 | 6 | 0.560 | 1.750 | 10.50 | |
| P2-3 | D10 | 3597 | 6 | 0.560 | 2.014 | 12.08 | |
| 合計 | | | | | | 392.40Kg | |

折り曲げ内法直径
D10×3d=30

## 躯体断面図

S=1/60（A3）



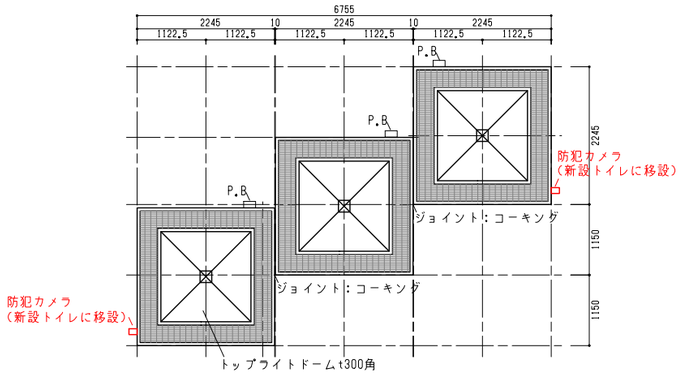




壁配筋：タテ・ヨコ D10@200
コーナー筋：D13
端部筋：D13
開口部補強筋：D13
床短辺方向：D13@200
床長辺方向：D13@200

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>012 |
| | 図面名称 | 基礎配筋図・躯体断面図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | ― | | |

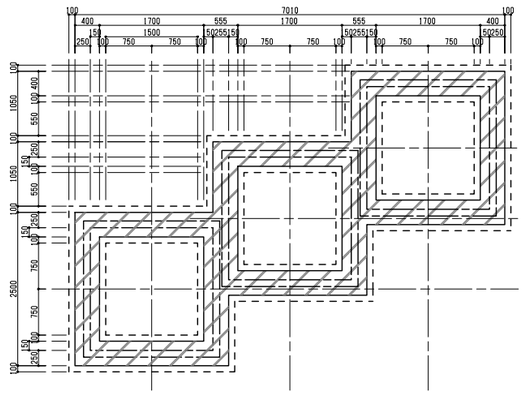
## 屋根伏図

S=1/100（A3）



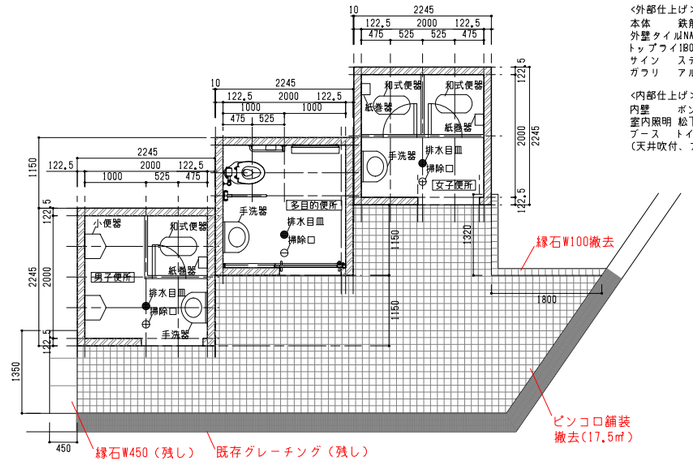

## 基礎伏図

S=1/100（A3）




## 平面詳細図

S=1/100（A3）

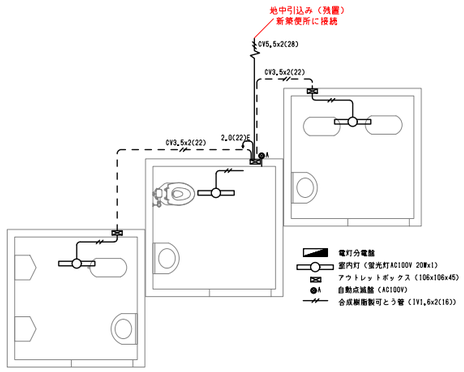



<外部仕上げ>
本体　　鉄筋コンクリート
外壁タイル　INAXブレインカラー同等品
トップライ1800角ピラミッド（網入りガラス）
サイン　　ステンレスH.L仕上げ150角（耐候性粘着シール）
ガラリ　　アルミサッシガラリ（W498×H498）

<内部仕上げ>
内壁　　ボンタイル吹付け仕上げ＋ハンチより下部タイル
室内照明　松下電工FA21233（20W×1）
ブース　　トイレブース（t=40）
（天井吹付、アスベスト含む可能性あり）

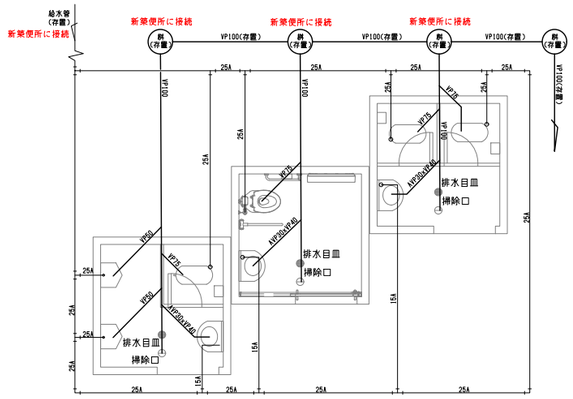
## 電気設備図

S=1/100（A3）




## 給排水設備図

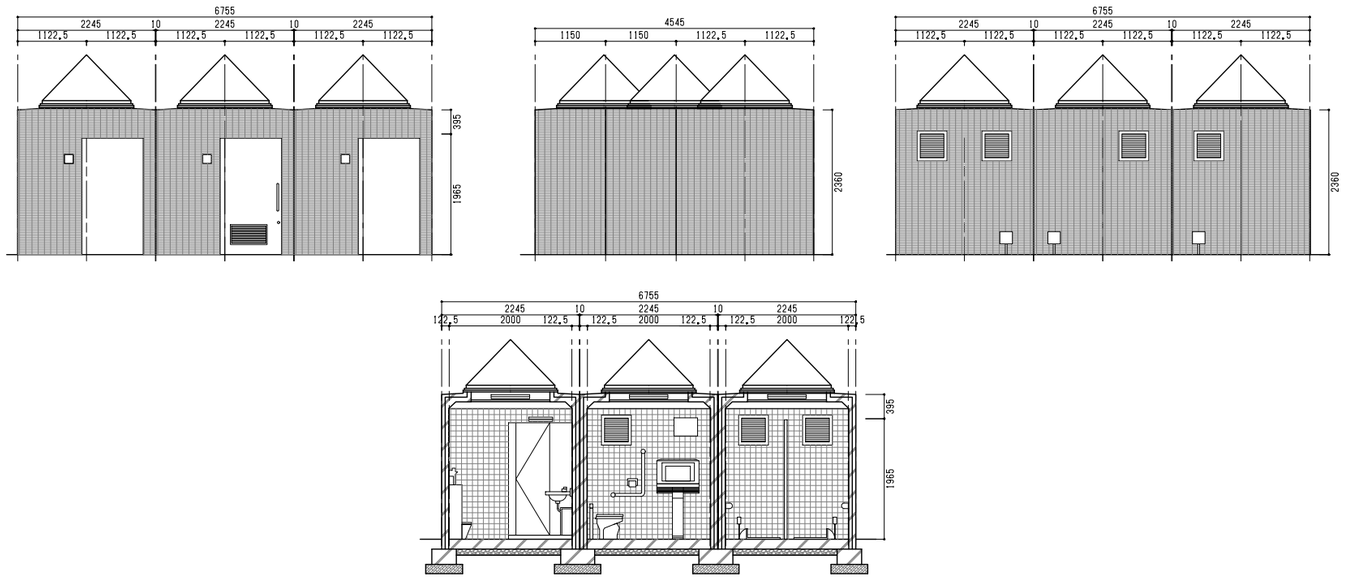
S=1/100（A3）




## 現場写真

## 立面図・断面図

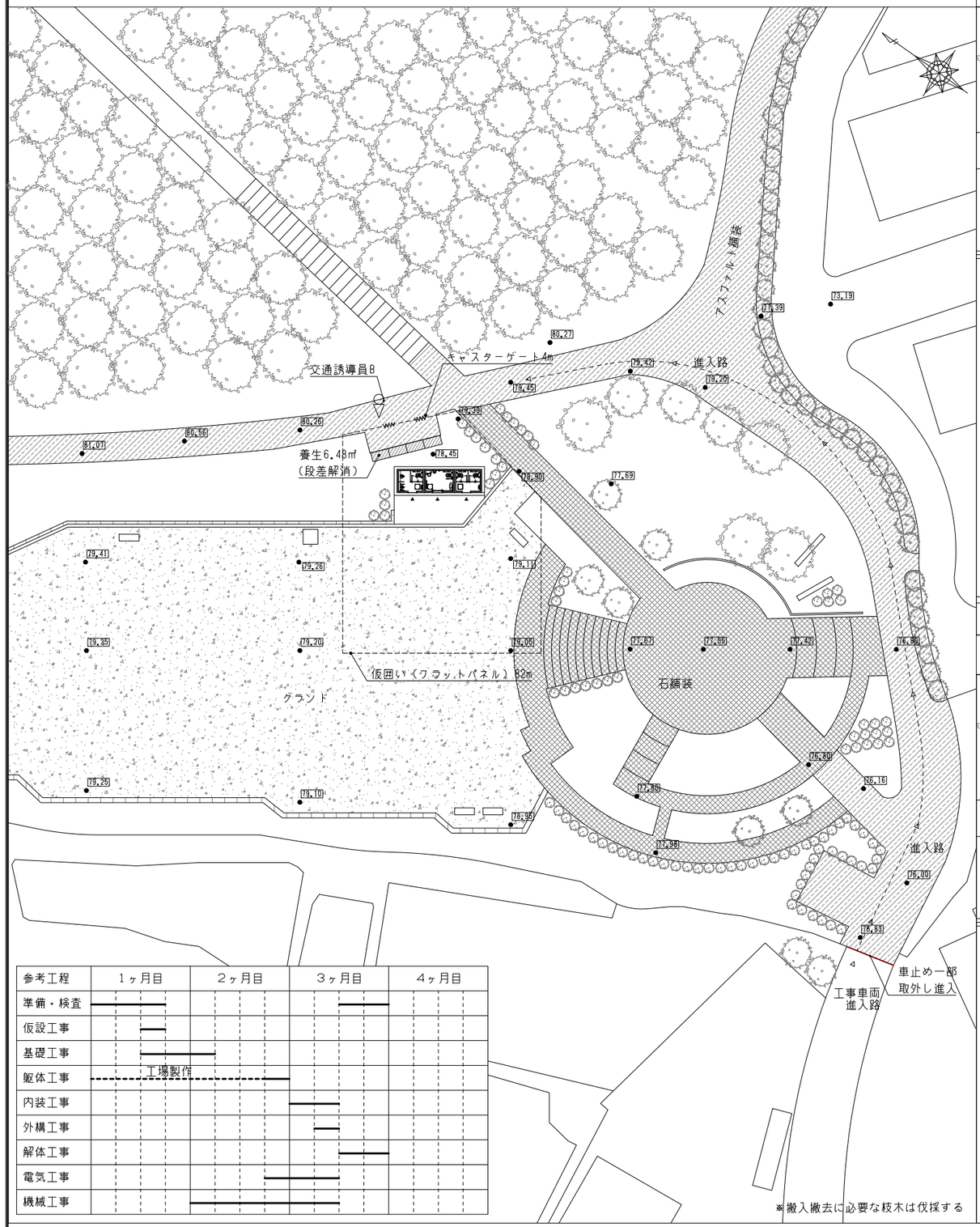
S=1/100（A3）




| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>013 |
| ARCHITECTS TEEHOUSE<br>株式会社 ティーハウス建築設計事務所<br>一級建築士事務所 兵庫県知事登録　第01A03718号<br>一級建築士　第370376号　高田麻利佳 | 図面名称 | 既存トイレ解体図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | － | | |

## 工事車両進入路

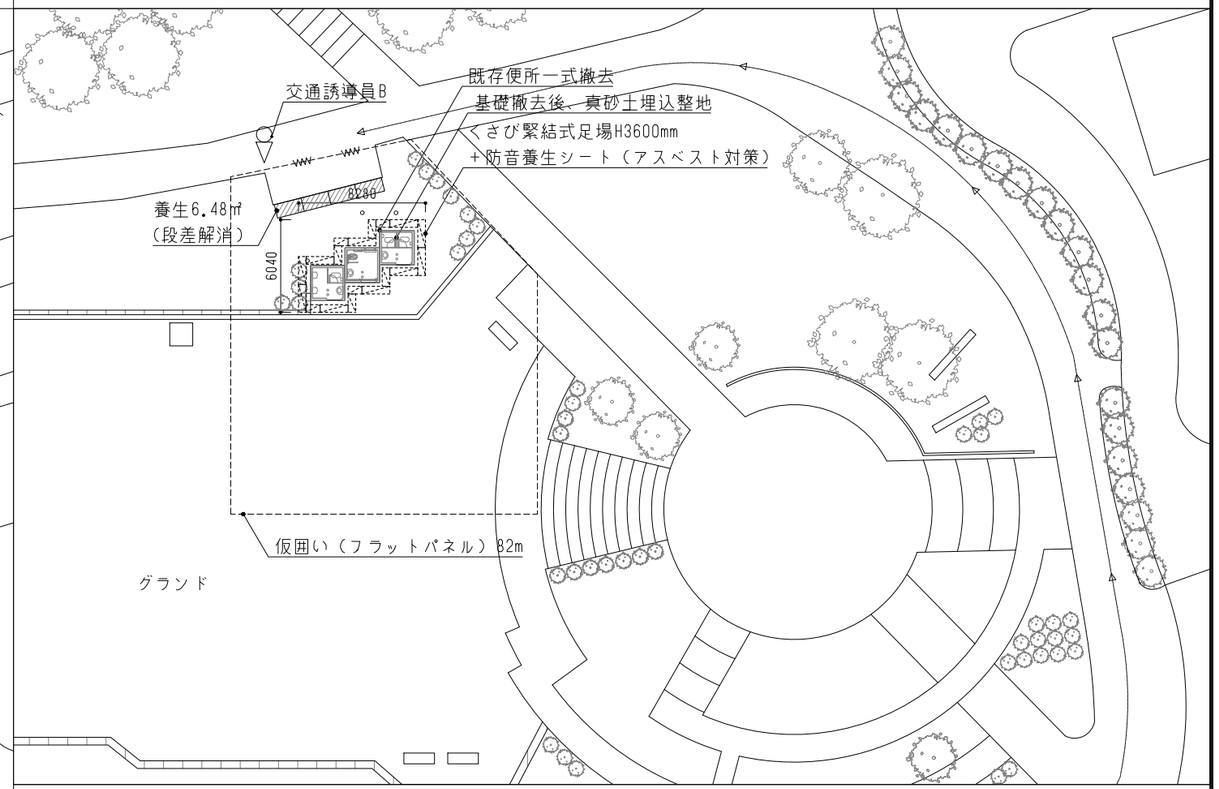
S=1/500（A3）・1/250（A1）




| 参考工程 | 1ヶ月目 | 2ヶ月目 | 3ヶ月目 | 4ヶ月目 |
|---|---|---|---|---|
| 準備・検査 | | | | |
| 仮設工事 | | | | |
| 基礎工事 | | | | |
| 躯体工事 | 工場製作 | | | |
| 内装工事 | | | | |
| 外構工事 | | | | |
| 解体工事 | | | | |
| 電気工事 | | | | |
| 機械工事 | | | | |

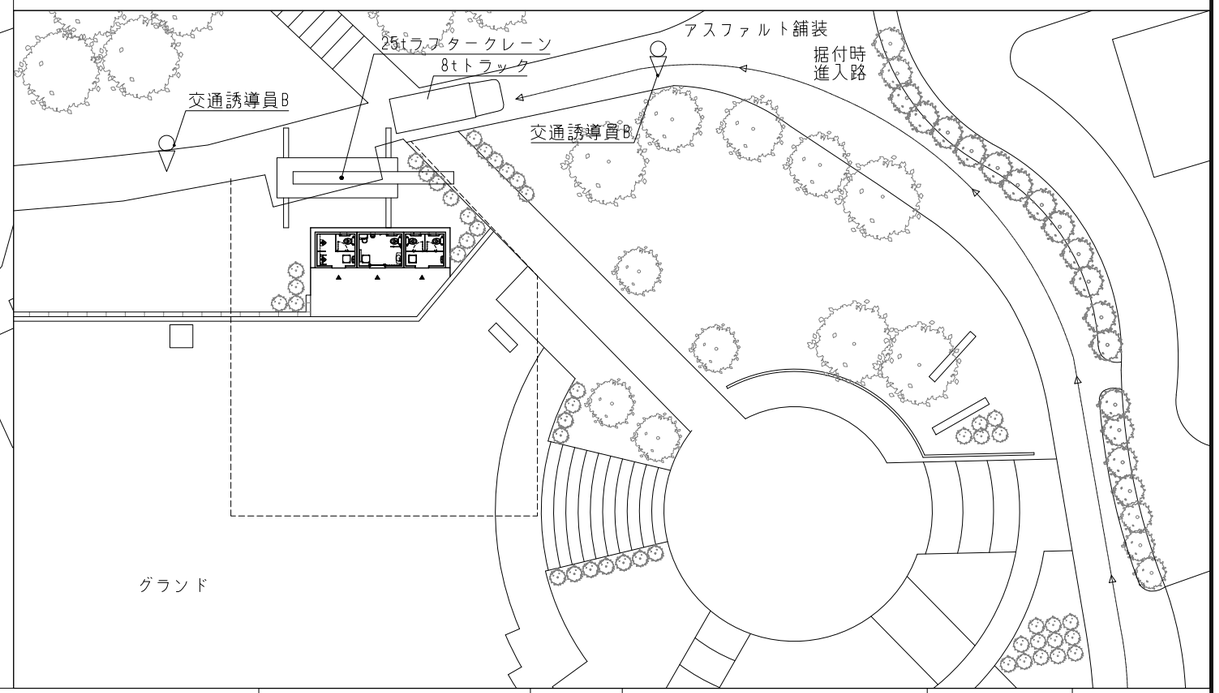
## 仮設計画図（新設工事）

S=1/400（A3）・1/200（A1）




## 仮設計画図（躯体据付工事）

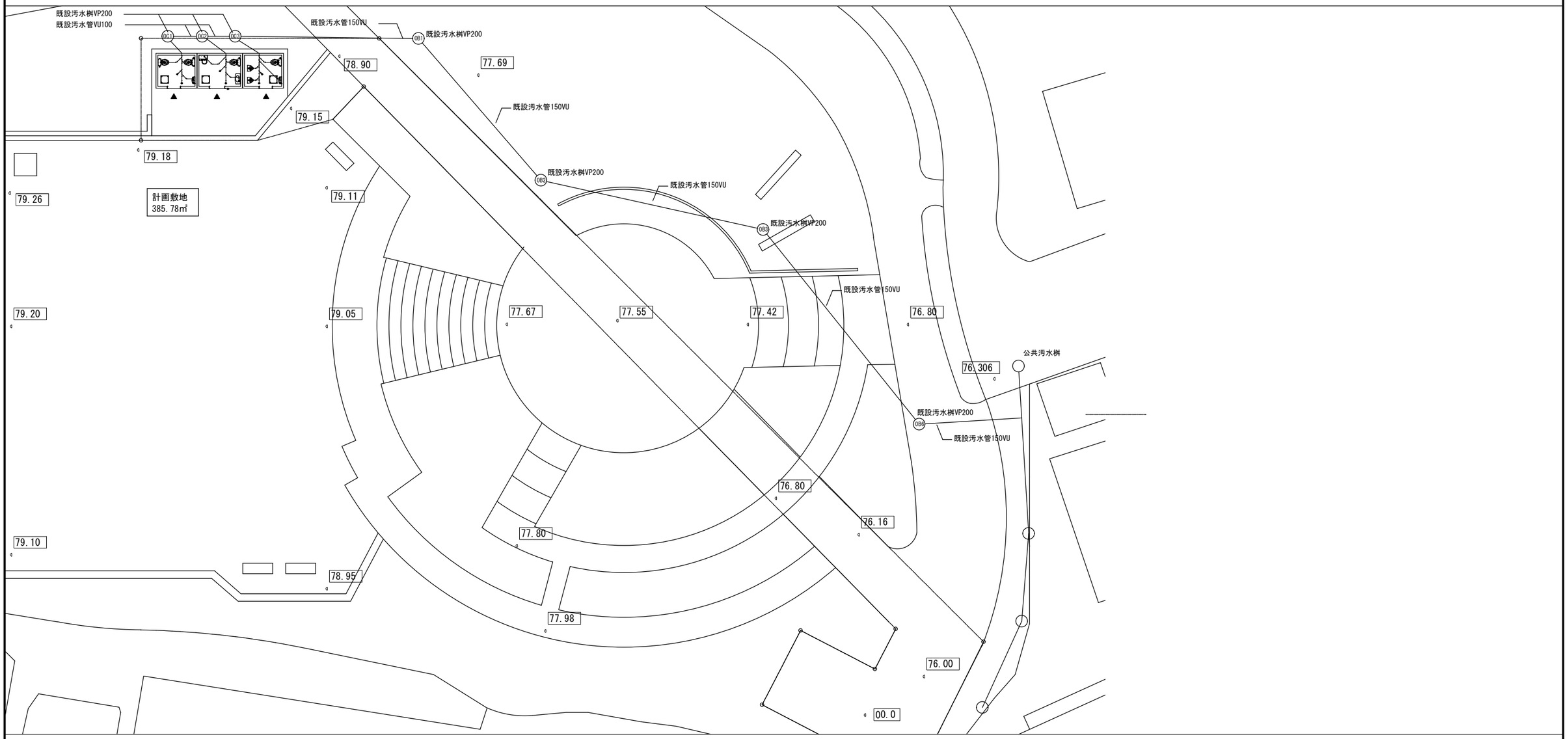
S=1/400（A3）・1/200（A1）



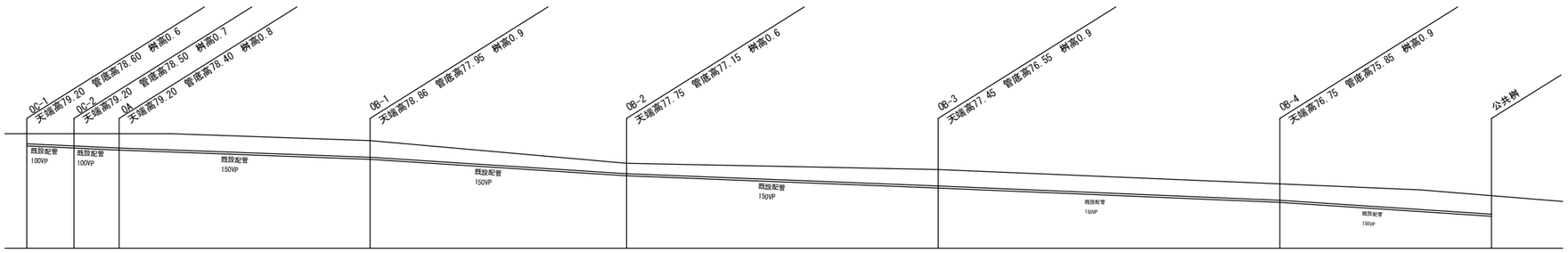

＜凡例＞
- 敷地境界線
- 搬入経路
- 仮囲いフラットパネル（H1800）
- 石板養生範囲（車両通行時）
- 交通誘導員

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>014 |
| ARCHITECTS TEEHOUSE<br>一級建築士事務所 兵庫県知事登録　第01A03718号<br>一級建築士　第370376号　高田麻利佳 | 図面名称 | 仮設計画図 | 整理番号 | |
| | 縮尺 | — | | |

平面配置図




縦断図




| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 室　長 | 室長補佐 | VU+FF78VU+FF96 | 係 | VU+FF90VU+FF70VU+EF80VU+EF90E | 箕面市みどりまちづくり部<br>公園緑地室 | 工事名称 | 公園トイレ更新工事<br>（箕面東公園） | 設計年月日<br>2023-3-13 | 図面番号<br>015 |
| | | | | | | 図面名称 | 排水設備計画図 | 整理番号 | |
| | | | | | | 縮尺 | 1/200 (A3)・1/100 (A1) | | |